

第二十七回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十一號

明治四十四年三月二十一日(火曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第二十一號 明治四十四年三月二十一日

午前十時開議

- 第一 請願委員長報告
- 第二 市制改正法律案(政府提出案 議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 町村制改正法律案(政府提出案 議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 東京市區改正條例中改正法律案(政府提出案 議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 朝鮮銀行法案(政府提出案 議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 樺太ニ於ケル漁業免許ノ取消及漁業料ノ徵收ニ關スル法律案(政府提出案 議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 地租條例中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第八 登録稅法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第九 國稅徵收法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 營業稅法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十一 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十二 東京市及大阪市ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十三 產業獎勵ニ關スル建議案(前田正名君發議) 會 議
- 第十四 報效志士表彰追録ノ請願 會 議
- 第十五 國稅徵收法ニ關スル請願 會 議
- 第十六 贈從四位森山新藏父子追録ノ請願 會 議
- 第十七 溜池及堤塘敷地還付ノ請願 會 議
- 第十八 府縣管轄區域變更ノ請願 會 議
- 第十九 七尾灣築港ノ請願 會 議

- 第二十 牛疫血清製造機關擴張ノ請願 會 議
- 第二十一 廢川地拂下ニ關スル請願 會 議
- 第二十二 種牛場増設ノ請願 會 議
- 第二十三 煉乳事業獎勵ノ請願 會 議
- 第二十四 地租徵收費用交付ニ關スル請願 會 議
- 第二十五 魚市場法制定ニ關スル請願 會 議
- 第二十六 郵便局設置ノ請願(文書表第三 百十九號) 會 議
- 第二十七 船川鐵道敷設ノ請願 會 議
- 第二十八 大井川改修工事國庫支辨ノ請願 會 議
- 第二十九 家畜運輸ニ關スル請願 會 議
- 第三十 登記取扱ノ請願 會 議
- 第三十一 北海道帝國大學設立ノ請願 會 議
- 第三十二 波根西郵便局集配開始ノ請願 會 議
- 第三十三 三澤郵便局設置ノ請願 會 議
- 第三十四 軍人恩給法附則改正ノ請願(文書表第三 百四十號) 會 議
- 第三十五 金名鐵道敷設ノ請願(文書表第三 百四十二號) 會 議
- 第三十六 南朝三帝賀名生皇居ノ宮趾ヲ特別保護建造物ニ編入ノ件外一件ニ關スル請願 會 議
- 第三十七 登記所設置ノ請願 會 議
- 第三十八 大館盛岡間鐵道速成ノ請願 會 議
- 第三十九 國立工業試驗場設立ノ請願 會 議
- 第四十 安倍川改修工事速成ノ請願 會 議
- 第四十一 區裁判所出張所設置ノ請願(文書表第三 百五十三號) 會 議
- 第四十二 自家用料醬油稅則改廢ニ關スル請願 會 議
- 第四十三 木之子村郵便局設置ノ請願 會 議
- 第四十四 郵便局設置ニ關スル請願 會 議
- 第四十五 静岡地方裁判所沼津支部開廳ノ請願 會 議
- 第四十六 軍人恩給法附則改正ノ請願(文書表第三 百六十號) 會 議
- 第四十七 平戶區裁判所御厨出張所設置ノ請願 會 議
- 第四十八 郵便局設置ノ請願(文書表第三 百六十五號) 會 議
- 第四十九 郵便局設置ノ請願(文書表第三 百六十六號) 會 議

第五十 金名鐵道敷設ノ請願(文書表第三百六十號) 會 議

第五十一 中仙道幹線速成ノ請願(九號 第四百號) 會 議

第五十二 製油原料輸入關稅免除ノ請願 會 議

第五十三 郵便局設置ノ請願(文書表第三百七十二號) 會 議

第五十四 宅地賃賃價格再調査ノ請願 會 議

第五十五 御料地下付ニ關スル請願 會 議

第五十六 區裁判所出張所設置ノ請願(文書表第三百七十六號) 會 議

第五十七 煙草專賣法改正ノ請願 會 議

第五十八 北海道北見線鐵道速成ノ請願 會 議

第五十九 寺院境内還付ニ關スル法律案制定ノ請願 會 議

第六十 船川大久保間鐵道敷設ニ關スル請願 會 議

第六十一 兵庫縣圓山川同支川出石川河川改修ノ請願 會 議

第六十二 府縣町村區域變更ニ關スル請願 會 議

第六十三 地方裁判所支部設置ノ請願 會 議

第六十四 郵便局設置ノ請願(文書表第三百九十一號) 會 議

第六十五 鹽賠償價格査定ニ關スル調査會設置ニ關スル請願 會 議

第六十六 郵便局設置ノ請願(文書表第三百九十三號) 會 議

第六十七 輕便鐵道敷設ノ請願 會 議

第六十八 神祇官設立ノ請願 會 議

第六十九 國庫ノ補助ヲ仰キ日光山ヲ公園ト爲スノ請願 會 議

第七十 第二辰丸不法抑留ヨリ生シタル損害金下付ニ關スル請願 會 議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔東久世書記官朗讀〕

昨二十日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大藏省預金部ノ利益金ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案

明治四十四年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

明治四十四年度特別會計歳入歳出總豫算追加案(特第一號)

明治四十四年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

明治四十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

租稅外諸收入金整理ニ關スル法律案

關稅法中改正法律案

賣藥稅法中改正法律案

砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル法律案

司法事務共助法案

執達吏手數料規則中改正法律案

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案

軍人恩給法中改正法律案

明治三十三年法律第七十六號中改正法律案

明治三十三年法律第七十五號同三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案

工場法案

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

東京市區改正條例中改正法律案可決報告書

同日政府ヨリ議員馬屋原彰君提出繪畫獎勵ノ方針ニ關スル質問ニ對シ文部大臣ノ答辯書ヲ受領セリ

貴族院議員馬屋原彰君提出繪畫獎勵ノ方針ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月二十日

內閣總理大臣 侯爵桂 太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

(別紙)

貴族院議員馬屋原彰君提出繪畫獎勵ノ方針ニ關スル質問ニ對スル答辯書

辯書

一、政府ハ年々美術展覽會ヲ開設シ毎回審査委員ノ選任ニ注意シ適當ナル技術家及學者ヲ選定シテ審査會ヲ組織シ出品ノ鑑査及審査ヲ嚴密公正ニ行ヒテ各流各派ニ涉リテ本邦固有ノ繪畫ヲシテ益々進歩發達セシメント期ス

二、政府ノ美術教育機關ニ於ケル日本畫ニ就テハ技術ノ造詣ト其ノ流派

トヲ願念シテ適良ノ教師ヲ選任シ生徒ヲシテ各其ノ適スル所ニ隨テ流  
派ヲ選擇シ終始同一教師ノ指導ヲ受ケシメ以テ技術ノ難駁ニ陥ルノ弊  
ヲ防キ成ルヘク一流派ノ蘊奧ヲ究メシメンコトヲ期ス其ノ成ルヘク況  
ク本邦ノ特技ヲ傳ヘ其ノ進歩發達ヲ圖ルノ主旨ニ至テハ美術審査會ノ  
精神ト相一致スルモノトス

明治四十四年三月二十日

文部大臣 小松原英太郎

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、請願委員報告

〔田中芳男君演壇ニ登ル〕

○田中芳男君 本日此請願委員會ノ報告ヲ致シマスルガ、是ニテ今年ノ報告ハ終リマスル故ニ、本年中ニ取扱ヒマシタル所ノ件數ヲ御報道イタシマス、本年ノ初メニ一度請願書ノ各號ヲ報告イタシマシタ、其後請願委員會ヲ開會イタシマシタコトハ七度アリマシタ、故ニ前ニ報告イタシマシタノト合セマサルト九回ニナリマス、請願分科會ハ二十回開キマシタ、前ニ其報告ヲ致シマシタノト合セマスト二十八回ニナリマス、請願文書表ノ報告ガ六回アリマスカラシテ、前ノ二回ヲ合セマスト八回ニナリマス、請願委員會特別報告ハ七號マデ出シマシテゴザイマスルガ、前ノ請願委員會報告ヲ合セマスト合セテ、八號ニナリマス、請願書ノ受領ノ數ト云フモノハ五百六十九件、前ノト合セマスト九百七十一件、其連署人名ノ總數ハ十二万三千七百一名ニナリマスルノゴザイマス、請願文書表ニ掲載イタシマシタ件數ハ九百五十四件、デアリマス、其中ニ院議ニ付スベシト議決イタシタモノガ六百六十九件、院議ニ付スルヲ要セズト議決イタシタモノガ二百七十七件、取下げヲ許可シタモノガ一件、審査未了ノモノガ七件、請願文書表ニ未ダ載セザル件數ガ十七件ト云フモノニナリマス、ソコデ先ヅ數ヲ申上ゲマスト唯今ノヤウナ次第デアリマスケレドモ、今日マデ出來得ル限りノ審査ヲ致シマシタケレドモ、ドウシテモ文書表ニ載セラレマセヌモノガ、末ニ大分提出ニナリマシテ、此請願文書表ニ載セザル件數十七件ト云フモノガ出來マシタ、付キマシテハ後來御提出……御紹介クダサル方ガ少シ御注意クダサイマスレバ、斯様ニ澤

山持テ餘シテ仕舞ヒマシヤウナコトハ無イコトニナリマスカラ、是ハ希望デゴザイマスケレドモ、皆サンノ御耳ニ入レテ置キマス、尙ホ申上ゲテ置キタイコトガ一ツアリマスノハ、今日特別報告ガ大分、數ガ出テ居リマスガ、昨日軍人恩給法ノ改正案ガ當院ヲ通過シマシタ以上ハ最早出シテモ用ノ無イモノガ今日ノ議事日程ニ載ツタ所ニ二ツゴザイマス、ソレハ第三十四ト第四十六デゴザイマス、是ハ兩方トモ同ジモノデ、軍人恩給法ノ附則改正ノ請願デゴザイマスルガ、唯今申上ゲタ通り既ニ昨日本院ヲ規則ガ通過シタ以上ハ最早是ハ不用ニ屬シマスカラ、此二件ハ今日撤回イタシマスル、左様御承知クダサルヤウニ……

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、市制改正法律案、政府提出衆議院送付、第三、町村制改正法律案、政府提出、衆議院送付、第四、東京市區改正條例中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告 波多野男爵

市制改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月二十日

右特別委員長

男爵 波多野 敬直

貴族院議長公爵德川家達殿

町村制改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月二十日

右特別委員長

男爵 波多野 敬直

貴族院議長公爵德川家達殿

東京市區改正條例中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月二十日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長  
男爵 波多野敬直

〔男爵波多野敬直君演壇ニ登ル〕

○男爵波多野敬直君 唯今議題ニナツテ居リマスル市制改正法律案、町村制改正法律案、東京市區改正條例中改正法律案、此三案ニ付キ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道イタシマス、此三案ノ中、市制改正法律案、町村制改正法律案ハ相關聯シテ居リマスカラシテ一括シテ御報道ヲ致シマス、此二案ハ何レモ現行法ノ全部ニ涉ル改正デゴザリマシテ、之ニ對シテハ衆議院ニ於キマシテ二十箇條内外ノ修正ヲ加ヘテゴザイマス、此案ニ付キマシテハ皆様既ニ御研究ノコト、ハ考ヘマヌガ、先ヅ此二案ノ中、市制改正案ニ付キ重要ナル事項ヲ一應簡單ニ申上ゲマス、第一ハ市參事會ノ行政機關タルヲ議決機關ニ改メタト云フコトデゴザイマス、此改正ノ理由ハ合議體ヲ以テ行政機關ヲ組織イタシマスルトキニハ、或ハ責任ノ歸スル所、明カナラズ、或ハ事務ノ敏活ヲ闕キ、弊害少カラザルニ依リマシテ市參事會ハ之ヲ一種ノ議決機關トシテ存置イタシマシテ、更ニ市長ヲ以テ單獨ノ行政機關ト致シマシテ、之ニ十分ノ責任ヲ負ハシメムトスルト云フノデアリマス、第二ハ市會議員ノ任期六年ヲ四年トシ、半數改選ノ制ヲ全數改選ノ法ニ改メタト云フノデアリマス、此ノ改正ノ理由ハ從來三年毎ニ半數改選ヲ行ヒマスル所以ハ、畢竟成ルベク經驗アル議員ヲシテ少クトモ半數ハ留任セシムルト云フニ外ナラスノデアリマス、然ルニ是マデノ實驗上ニ徴シマスレバ、斯ル必要モナク、且選舉ヲ屢、致シマスルニ付キマシテハ、其少カラヌ費用ヲ要スルコトデゴザリマスカラ、府縣制等ノ例ニ倣ヒマシテ、四年毎ニ全數改選ノ制ヲ採ルト云フ趣意デゴザイマス、第三ハ市會議員選舉方法ハ單記無記名ノ投票ニ改ムルト云フコトデゴザイマス、此改正ノ理由ハ從來連記投票ヲ用キマシタケレドモ、衆議院議員其他府縣會議員等ノ選舉ニ對シテ當ニ不權衡ノミナラズ實際ニ於テ連記ニ伴フ弊害ガゴザイマスカラシテ單記ノ制ニ改メマシテ選舉ノ公平ヲ期セムトスル趣意デゴザイマス、第四ニハ市長ノ任期六年ヲ四年ニ短縮スルコトデゴザイマス、此改正ノ理由ハ市會議員ノ任期ヲ短縮イタシマシタル爲ニ之ト權衡ヲ得サシメ、且ツ市長ヲ單獨ノ行政機關トナシタルガ爲ニ其責任モ重ク權力モ亦大ニナリマシタガ故ニ、市會若クハ參事會員等ヲシテ其行動ヲ節

制セシムル必要ヨリ此改正ヲ企テラレタ譯デゴザイマス、第五、市參與ノ制ヲ設ケタルコト、此改正ノ理由ハ大都市ニ於キマシテハ、水道、築港、電車、又ハ市區改正等、特殊ノ事業ヲ經營スルニハ、特ニ學識經驗アル人物ヲ擧ゲテ適當ナル地位ヲ與ヘテ、專ラ其人ヲシテ其事業ヲ擔任セシムルノ必要ヨリ起ツタ改正デゴザイマス、第六ハ市町村組合ヲ設ケ得ルノ規定デゴザイマス、此理由ハ例ヘバ道路又ハ水道ノ如キ事業ハ市ト其附近ノ町村トノ間ニ共同經營スル必要ガゴザイマス、然ルニ現行法ニハ之ニ應ズル規定ガゴザイマセスカラ、之ヲ新ニ設ケタル譯デゴザイマス、其他ノ點モゴザイマスガ、是ハ比較的輕易ナモノデゴザイマスカラシテ、別段報告イタシマスルコトヲ省キマス、衆議院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘマシタルモノ、中ニ原案ト其趣意ヲ異ニシテ居ルモノガゴザイマス、其事項ノ大略ヲ一應申上ゲマス、第一、市制第九條第一項ノ公民權ノ要件中ニ原案ハ唯「直接國稅」トゴザイマス、ソレヲ「地租ヲ納メ若ハ直接國稅年額二圓以上」ト修正イタシマシテ、是ハ即チ現行ノ法ニ復シタル譯デゴザイマス、第二ハ第十八條第三項ノ議員タルノ資格者トシテ原案ニハ「市ニ對シテ常ニ工事ノ請負」云々トゴザイマスノヲ「市ニ對シテ請負ヲ爲ス者」云々ト云フ修正デゴザイマス、是ハ大都市ニ於キマシテハ原案デ差支ハゴザイマセヌガ、小市ニ於キマシテハ銀行其他ノ業ヲ取扱フテ居リマスル人ヲ除キマス、アトノ被選人ト云フモノハ餘程劣等ニナル嫌ヒガアルト云フコトデ、之ヲ斯ウ改メル方ガ宜カラウト云フコトデ、斯ウ改メマシタ、衆議院議員選舉法ノ資格ト同一ニ致シマシタ譯デアリマス、第三ハ第三十條第一項ノ但書中ニ得票數ノ最少限度トシテ、原案ニハ「五分ノ一以上」トアリマスノヲ「七分ノ一以上」ト修正シテゴザイマス、是ハ或ル選舉區ニ於キマシテハ棄權者ガ多クシテ投票ニ出ル人ガ五分ノ一ニ足ラヌ位ノコトガアルサウデゴザイマス、ソレデ之ヲ五分ノ一以上ト致シマスレバ到底投票得點數ニ達スルコトハ、ムヅカシイコトデアルサウデゴザイマスカラ、之ヲ七分ノ一ト改メルト云フコトデゴザイマス、第四ハ同第三十七條第三項、是ハ一回ノ選舉ニ於テ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハザルガ爲ニ、更ニ二回ノ選舉ヲ行フ場合ニハ此得票數ノ最少限度ノ規定ヲ適用シナイト云フ修正デゴザイマス、是ハ前申上ゲマス理由デ一遍イタシマシタ所ガ七分ノ一ニ達シナイ、又シタ所ガ達シナイト云フコトデハ到底成立タナイト云フヤウナ次第デゴザイマスカラ、再度ノトキニハ最少限度ノ規定ヲ適用シナイト云フ趣意ダ

サウデゴザイマス、第五ハ第六十五條第一項、名譽職參事會員ノ定數ハ勅令ヲ以テ指定スル市ニ於テハ十二人マデ増加スルコトヲ得ルト云フ修正デゴザイマス、此改正ノ趣意ニ付キマシテハ東京市ノ如キハ議員數モ今カラ見ルト増加スルサウデゴザイマス、然ルニ東京市ハ是マデ市參事會員ハ十二人トシテアルサウデゴザイマスカラ、一方ノ議員ハ増加シ參事會員ハ減ズルト云フコトハ權衡ヲ得ナイカラ、寧ロ現在ノ所マデハ増加スルガ適當デアラウト云フコトデ、此改正ヲ企テラレタサウデゴザイマス、其他ハ字句ノ修正、又ハ輕易ナル改正デゴザイマシテ、別段御報告申シマス程ノコトモゴザイマセヌカラ省キマス、委員會ニ於キマシテ各條ニ付イテ逐次審議ヲ盡シマシテ澤山ノ質問モゴザイマシタガ、其質問ノ大體ニ涉ル質問モ一二ゴザイマシタガ、多クハ法文ノ意義ヲ明カニスルト云フ質問デゴザイマスカラ、是モ一々御報告ハ致シマセヌ、又一二ノ希望モゴザイマシタ、其希望ハ此監督ノ厲行ノコト、或ハ施行期限ヲ成ルベク速ニシテ貫ヒタイト云フヤウナ希望デゴザイマス、其他質問等モゴザイマシタガ、本改正案ハ相當ナル法案ト認メマシテ、茲ニ委員會ハ全會一致ヲ以テ衆議院修正ノ通り可決イタシマシタ、次ニ町村制改正案ニ付キマシテハ市制改正案ト略、同一ノ趣意デゴザイマシテ、之ニ對スル衆議院ノ修正モ亦殆ド同一ナルヲ以テ委員會ニ於キマシテハ全部、衆議院修正ノ通り可決イタシマシタ、次ニ東京市區改正條例中改正法律案、是ハ市區改正條例ノ第三條第五條ニ市區改正ノ費用ニ充ツベキ財源ハ定メテゴザイマシタガ、又第七條ニ至ッテ制限ガ置イテゴザイマス、其制限ガ即チ五十万圓又ハ百万圓トアルノデゴザイマス、今東京ノ市區改正ハ段々進行ヲ致シマシテ、既ニ本年ヨリハ下水工事ニモ著手スルト云フ有様デゴザイマスカラシテ、茲ニ此制限ヲ二倍ニ増加スルト云フノデゴザイマス、是モ別段異議ナク全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

○男爵久保田讓君 本案ハ重要ナ案デハゴザイマスガ、委員會デモ餘程精細ニ御審査ニナリマシタ、尙ホ唯今委員長ヨリモ明瞭ナ報告モアリマシタノデゴザイマスカラ、若シ修正意見デモアレバ格別デゴザイマスガ、修正意見モアリマセヌコトデアリマスルナラバ讀會ヲ省略シテ可決ニナラムコトヲ提議イタシテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 久保田男爵ニ伺ヒマシタガ、久保田男爵ハ市制改正法律案ノミノ讀會省略デアリマスカ

○男爵久保田讓君 唯今問題ニナッテ居リマス總テノ案ニ付イテ……

○議長(公爵徳川家達君) 問題ニハマダ供シテ無イノデアリマス、委員長ノ報告ヲ三案束ネテ致サレタノミデ、問題ノコトハ今將ニ議長ガ御諮リヲ致サウト思フ所デアリマシタ、……サウ致シマスト、久保田男爵ノ御意見ハ三案トモ讀會省略……

○男爵久保田讓君 左様デゴザイマス

○男爵周布公平君 三案トモ讀會省略ニ賛成ヲ致シマス

○男爵武井守正君 賛成

○小野田元熙君 賛成

○子爵前田利定君 賛成

○男爵調所廣丈君 賛成

○男爵有地品之允君 賛成

○男爵園田安賢君 賛成

○男爵沖守固君 賛成

○男爵原口兼濟君 賛成

○田島竹之助君 賛成

○加藤正惠君 賛成

○辰巳檜太郎君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 久保田男爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 三案トモ特別委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第五ノ朝鮮銀行法案ノ第一讀會ノ續ヲ開ク筈デゴザイマスガ、委員長ガ唯今豫算委員長トシテ豫算會ニ居ラレマスカラ、會我子爵ノ出席ノ協フトキマデ延期イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵波多野敬直君 是ヨリ商法ノ協議委員會ヲ開クサウデゴザイマスカラ、退席ノ許可ヲ得タウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 波多野男爵ノ要求ヲ許可イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸事日程第六、樺太ニ於ケル漁業免許ノ取消及漁業料ノ徵收ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、村田保君

樺太ニ於ケル漁業免許ノ取消及漁業料ノ徵收ニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月二十日

右特別委員長

村田 保

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 委員會ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、此樺太ニ於キマスル漁業免許ノ取消及漁業料ノ徵收ニ關スル法律案ト申スモノハ、御覽ノ通り誠ニ一頂カ二頂カデ、極メテ簡單ナル法デゴザイマシテ、此趣旨ハ先日政府委員ガ第一讀會ニ於テ述ベラレマシタ通りデゴザイマス、趣意モ至ッテ簡單ナモノデアル、當年ノ四月カラシテ樺太ニ於キマシテ新漁業法ヲ施行ニナリマスノニ、樺太デハ從來漁業料ノ納付ヲ怠リマシタ者ハ漁業免許ヲ取消シ來ツテ居リマスノガ、新漁業法ハ漁業料ヲ納メスカラト云ツテ單ニ直グ取消スコトハ出來マセヌカラ、ソレデハ實際差支ヘル、付イテハ是非法律ニ設ケテ欲シイト云フノガ第一ノ趣意デアル、ソレカラ又此徵收ニ付キマシテモ、國稅徵收法トソレカラ四十四年ノ法律三十四號ヲ準用シタイト云フコトデ、如何ニモサウ云フ事デゴザイマスカラ委員會ニ於キマシテモ格別ソレハ質問モ無ケレバ何モ無イ、唯漁業料ハ一年ドレクラ取レルカト云フ質問ガアリマシタ、

ソレデ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ譯デゴザイマスカラ、ドウゾ速ニ御採決ニナラムコトヲ……、且ツ是等ガ最モ讀會省略ニ致シマスル性質ノモノト存ジマスルカラ、ドウゾ讀會省略ニナリマシテ速ニ御採決ヲ願ヒタイノデアリマス

○伯爵柳原義光君 讀會省略賛成

○子爵伊集院兼知君 賛成

○岩村兼善君 賛成

○男爵調所廣丈君 賛成

○田邊輝實君 賛成

○子爵堤功長君 賛成

○男爵金子有卿君 賛成

○男爵有地品之允君 賛成

○辰巳檜太郎君 賛成

○加藤正惠君 賛成

○磯邊包義君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 村田君ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案、特別委員長ノ報告ノ通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵ガ出席セラレマシタカラ、議事日程第五ニ戻リマス、朝鮮銀行法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、曾我子爵

朝鮮銀行法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十九日

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員長  
子爵 曾我 祐準

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 本案ハ昨日モ議事日程ニ上ボリマシタケレドモガ、私ニ餘儀ナキ至急ノ用ガアリマシテ、一時間ノ退席ヲ願ヒマシタ、其内ニトウトウ間ニ合ヒマセズデ延ビマシテゴザイマス、別段此案ニ付イテ調べ落シトカ再調査ヲスルトカ云フコトデ昨日延バシタノデナイト云フコトヲ茲ニ一言申上ゲテ置クノデアリマス、此委員會ハ去ル十九日ニ開キマシテ、説明ヲ聽キマシタアトデ、種々ノ方面ニ向ッテ質問ヲ致シマシタ、是ハ申スマデモナク、朝鮮ニ於ケル金融ノ中樞ニ當ッテ居ル所ノ銀行ハ、初メハ第一銀行デアリマシタノヲ、一昨年、韓國銀行デ、ソレヲ繼承シテ、サウシテ今度又合併ノ結果トシテ朝鮮銀行ト改稱イタシマス譯デアリマスガ、此際多少ノ修正變更ガアリマス、最モ大ナル修正ハ二千万圓トアルノガ、三千万圓ト變ルノガ是ガ最モ大ナル修正デアリマス、修正ト申スノハ韓國銀行ニ對シテノ話デアリマス、是ハ何故デアアルカト云フ質問ニ對シテハ、韓國ノ經濟ノ情況ト云フモノガ日ニ變ッテ行ク、今マデノ金高デハ適シナイ、一ハ韓國時代ニ於テハ種々ナ發達ガ暇ガ入リマシタノガ、今日ハ非常ナ進歩デアルト云フコトデアリマス、ソレデ或ル質問者ハ斯様ナコトヲ申サレマシタ、最早日本ト合併シタ以上ハ斯様ナモノヲ置ク必要ハアルマイ、韓國時代ハ免モ角モデアアルガ、今日ハ日本銀行ノ支店カ何カ置イタラバ、ソレデ用ハ足りサウナモノデアルト云フ、斯ウ云フ質問ニ對シテハ、ソレハ韓國銀行ノ設立ノ當時モ其論ハアッタ、併シ今日、朝鮮ノ現狀ハ決シテ之ヲ許サナイ、ソレニ適當シナイ、第一ニ韓國ニ適當スルヤウニ銀行ヲスレバ日本銀行ノ定款カラ改メテ行カナケレバナラヌ、種々ノ條件ヲ加ヘナクテハナラヌ、且ツ朝鮮ハ邊境ニ位置シテ居ルニ依ッテ何時事變ガ起ルヤモ測リ難イ、若シモ斯ノ如キコトガアッタナラバ、即チ日本銀行ノ基礎ニ動搖ヲ來タス虞レモアル、斯ノ如キノ理由ヲ以テ是ハ合併ノ今日ト雖モ特別ノ銀行トシテ立テ、置クノガ必要デアアル、是ニハ又御承知ノ通り衆議院ノ修正ガアリマス、政府ハ此修正ニ對シテハ皆同意デアアル、ソレハ何故ト云フニ衆議院ノ修正ハ、主トシテ「朝鮮總督」ト云フ文字ヲ「政府」ト云フノニ改メタ所ガ多イ、修正ノ中ノ多イ部分デアリマスガ、政府ニ

於テハ初メヨリ是ハ「朝鮮總督」トハ書イテ置クケレドモガ、實際ハ日本政府ト能ク協議シテ實行スベキコトニ決メテアッタニ依ッテ、何等事實上斯ノ如ク變ッテモ一モ差支ハ無イ、ソレ故ニ贊成ヲスルノデアアル、其上ニ尙又拓殖銀行ニ於テモ、興業銀行ニ於テモ、斯ウ云フ場合ノ所ハ多ク「政府」ト書イテアルニ依ッテ、ソレニ一致サセル爲ニモ都合ガ宜イニ依ッテ修正ニハ同意ヲシタ、ソレ故ニ第三條ノ「朝鮮總督」トアルノヲ「政府」ト變ヘタノモ、四條ノ「朝鮮總督」トアルノヲ「政府」ト變ヘマシタノモ、右ノ理由デ政府ハ同意ヲサレテ居リマス、ソレカラ第九條ノ「總裁ハ朝鮮總督ノ推薦ニ依リ」ト云フ原文デアッタノヲ削ッテ「總裁ハ政府之ヲ命シ」トナリマシタ、此事ニ付キマシテモ意味ニ於テ何等變リハ無イニ依ッテ、政府ハ贊成スルト云フコトデアリマシタ、第二十條ニ「朝鮮總督ノ命令ニ基ク場合ハ」云々ト云フコトガアリマスガ、是ハドウ云フ理窟デアアルカト云フ問ヒニ對シテハ、特別ノ事情ガ朝鮮ニアル、例ヘバ人蔘組合トカ砂金ヲ買入レルトカ云フコトニ付イテハ、斯ウ云フ場合ヲ豫期スル必要ガアルト云フコトデアリマシタ、最モ大ナル質問ハ前キニモ申シマシタ二十二條ノ第二項ノ三千万圓ニ増シタ所デアリマス、元ノ韓國銀行ニ比スレバ千万圓増シタ所デアリマス、之ニ對シテノ説明ハ現ニ發行シテ居ル高デモ、一昨年ハ千八百八十万圓デアッタノガ昨年ハ二千万圓以上ニナリ、ト云フヤウナ理窟デ、斯ノ如クシテ段々増加シテ居ル故ニ三千万圓ノ必要ハアル、貨幣ノ流通高ヲ以テ見テモ、四十一年ハ一千九百萬圓デアッタノガ四十二年ハ二千八百八十万圓デアアル、四十三年ハ二千七百五十萬圓ト云フヤウナ譯ニ増シテ居ル、是ガ重モナル理由ノ説明デアリマス、實際ヲ言ヘバ是ニシテモマダ少イト思フ、朝鮮デハマダ或ル場所ニ行クト物々交換即チ物ト物トヲ交換スル有様デアアルガ、段々開ケテ貨幣ガ田舎ニ回ッテ行クヤウニナリ、交通ガ便利ニナレバ愈々通貨ト云フモノ、必要ガアル、現ニ内國デハ一人ニ付イテ凡ソ十圓ニ當ッテ居ルガ、臺灣デハ六圓餘ニ當ッテ居ル、朝鮮デハ斯クシテモ漸ク二圓クラキニシカ當ラナイ、ソレ故ニ此必要ガアルト云フヤウナコトデゴザイマシタ、ソレカラ此二十二條ノ三項ニモ修正ガアリマスガ、是モ政府ハ前キニ申上ゲマシタト同一ノ理由ニ依ッテ同意サレマシタ、ソレカラ二十七條ニ修正ガアリマス、御承知ノ通り五文字バカリ削リマシテ十字バカリ這入ッテ居リマス、此修正モ意味ニ於テ何等變リハ無ク、寧ロ誤解ヲ招カヌ爲ニハ此修正ノ方ガ宜イヤウニ思フカラ同意ヲシタ、

斯様ナコトデアリマシタ、ソレカラ又今ノ二十七條ニ「百分ノ十二ノ割合ヲ超過」云々ト云フコトガアツテ政府ニ納付金ノコトガアリマス、一委員ハ問ハレマシテ、政府ニ納付金ガアッタヤウナコトガ以前アルカト云フ問ヒニ對シテハ、ナカク納付金ドコロデハナイ、未ダ補給ノ時代デアルカラ、ソレハ思ヒモ寄ラヌコトデアルト云フヤウナ説明デアリマシタ、二十八條ノ修正モ前ト同様デアリマス、ソコデ此案ガ通レバ新シイ銀行券ガ出ル譯デア、然ラバ第一銀行時代ノ銀行券モ尚ホ行ハレテ居ルシ、韓國ノ銀行券モ行ハレテ居ルシ、ソレニ又朝鮮銀行ノ券ガ發行ニナルト三種ニナルカト云フ問ヒニ對シマシテハ、左様、三種ニナル、追々引換ヘハスルガ三種ニナル、併シソレハイツマデハ、ソレヲ引換ヘルトカ云フヤウナ日限、年限ニハ決マリハナイト云フコトデアリマシタ、其他質問モ澤山アリマシタガ、先ヅ重要ナリト思ヒマスノハ右ノ通りデアリマス、委員會ハ全部、衆議院ノ修正案通り可決イタシマシタ、此段御報告ヲ致シマス

○西村亮吉君 チョット質問ヲ致シタイ、之ニ付イテ衆議院デ改正ラシテ「朝鮮總督ノ認可」トアルノヲ「政府ノ認可」ト直シタ、ソレハ財政ノ統一ヲ闕グト云フ所カラ政府ト之ヲ改メタコトダト思フノデスガ、然ルニ此第二十二條ノ第三項ニ斯ウ云フコトガアル、「前二項ニ規定スルモノノ外市場ノ狀況ニ依リ銀行券ノ發行ヲ必要トスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ」云々トアル、サウスルト是ハ第二項ニ規定シテアル三千万圓ノ外ニ此銀行券ヲ發行スルヤウニ見エマスガ、サウデアリマスカ

○子爵曾我祐準君 御答ヘ致シマスガ、統一ノ爲ニ「政府」ト變ヘタト云フコトハ一向説明ハ聽キマセヌ、初メヨリ事實ノ上ニ付イテ政府ノ意思ヲ以テスルノデアアルニ依ッテ別段「朝鮮總督」ト云フ字ヲ取ツテ「政府」トシテモ事實ニ問ヘナイカラ同意シタト云フ説明デアリマシタ、ソレカラ第二ノ御問ヒハ左様ニ聽取リマシタガ、併シ是ハドウゾ……至ッテ銀行ノコトニハ不得手デアリマスカラ覺束ナイ御答ヘヲスルヨリハ、ドウカ政府委員ニ御尋ネテ願ヒタイ、御推察ノ通りノヤウニ思ヒマスガ、改メテ御問ヒテ願ヒマス

○西村亮吉君 政府委員ニ御尋ネ致シマス、此第二十二條ノ三項ニ「前二項ニ規定スルモノノ外市場ノ狀況ニ依リ銀行券ノ發行ヲ必要トスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ」云々トアリマスガ、是ハ第二項ノ三千万圓ノ外ニ銀行券ヲ發行スルト云フコトデアリマスルカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

〔政府委員荒井賢太郎君演壇ニ登ル〕  
○政府委員(荒井賢太郎君) 御質問ノ通りデゴザイマス、三千万圓ノ外ニ總督ノ認可ヲ得マシテ制限外ノ銀行券ヲ發行スルコトガ出來ルト云フ規定ニナルノデアリマス

○西村亮吉君 尙ホ大藏大臣ニ質問ガアリマスルガ、御出席ニナッテ居リマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 大藏大臣ハ唯今衆議院ニ出テ居ラレルサウデアリマス

○西村亮吉君 ソレデハ次官デモ……大藏省ノ政府委員ニ伺ヒタイ、大臣ガ御出席ガ無ケレバ……

○議長(公爵徳川家達君) 大藏省ノ政府委員ハ今、豫算委員會ニ出デ居ラレルサウデアリマスガ、荒井政府委員ノ説明デハ西村君ハ御満足ヲナサイマセヌカ

○西村亮吉君 相成ルベクハ大藏大臣ノ之ニ付イテノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ暫ク休憩ヲ致シマス、諸君ニ申上ゲマスガ本日ハ御承知ノ通り衆議院ト協議會ヲ今開イテ居リマスカラ、申上ゲルマデモゴザイマセヌガ、成ルベク御退院ニナラヌコトヲ希望イタシマス、……唯今休憩ヲ致スト申上ゲマシタガ、大藏次官ガ今出席イタサレマシタカラ、議長ノ宣告ヲ取消スト云フコトハ先例ニハ致シタクハゴザイマセヌガ、休憩イタス必要ハ無イカト考ヘマスカラ左様御承知ヲ請ヒマス、ソレデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○西村亮吉君 大藏次官ガ來ラレマシタカラ大藏次官ニ伺ッテ置キマス、此朝鮮銀行法ノ第二十二條ノ第三項ニ「前二項ニ規定スルモノノ外市場ノ狀況ニ依リ銀行券ノ發行ヲ必要トスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ」云々トアリマス、之ヲ唯今質問シタ、前二項ニ定メタル三千万圓以外ノ銀行券ヲ發行スルコトガアルト云フコトヲ承ッテ見マシタ所ガ、即チ朝鮮總督府ノ委員カラ御答ヘニ、三千万圓ノ外デアルト云フ、シテ見ルト此三千万圓以外ニ銀行券ヲ朝鮮總督ガ勝手ニ發行スルコトヲ許可スル譯ニナリマスガ、サウスルト財政ノ統一ハ闕グヤウニナラウト思フノデアリマスガ、大藏大臣ニ於テハソレ

デモ財政ノ統一ハ闕ガスト云フ御見込デアリマスカ、ソレヲチヨット伺ヒタ  
イノデアリマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今御尋ネニナリマシタ此三項ハ是ハ日本銀行  
ナドド申シマスル制限外發行ト云フ場合ニ相當スルノデアリマス、制限外發  
行ト申シマスノハ、經濟市場が大變ニ金ノ要ルコトニナリマシテ、此第一項  
ニ依ッテ正貨準備トシテ居ルモノ、竝ニ第二項ニ依ッテ國債證券其他ノ有價  
證券ヲ擔保ニシテ發行シテ三千万圓ト限ラレテ居リマスモノ、ソレダケヲ出  
シマシテモ尙ホ市場ガ通貨ヲ要スルコト多クシテ、ドウシテモ制限ヲ超エテ  
出スニアラザレバ市場ノ要求、需要ニ應ズルコトガ出來ヌト云フヤウナ事情  
ノ生ジマシタトキニ發行スル場合デアリマス、サウ云フトキハ、ドウ云フト  
キデアリマスカト云ヘバ、平年ニ於テ常ニアリマスノハ、月末デアリマスト  
カ、或ハ半年ノ末デアルトカ、一年ノ末デアルトカ云フヤウナ金ノ決済ヲ致  
シマスル場合ニ起リマサルシ、又何カ事ニ變態ノアリマシタトキ、例ヘバド  
コカニ取付ケガ始マルト云フヤウナコトデ資金ヲ大ニ要スルト云フコトガ  
アル、サウ云フ場合ニ於テ起ル現象デアアルノデアリマス、斯ノ如キ場合ハ急  
ニ起ッテ來ル場合デアリマスカラ、其場合、一々中央ノ指圖ヲ受ケテ初メテ  
認可ヲスルト云フコトニナリマスト、時機ヲ失フト云フコトガ茲ニ生ジマス  
ノデ、ソレデ朝鮮ニ於テハ朝鮮總督ガ今ノ場合ニ制限外ノ發行ヲスルコトヲ  
已ムヲ得ヌト思フナラバ、此場合ニ認可ヲシテ能ク其時機時機ニ應ジテ適當  
ニ認可ヲ與ヘテ行クニハ朝鮮總督ガ直チニ認可ヲ與ヘルコトガ相當デア  
ル、斯ウ思ヒマシテ此三項ノ所ハ「朝鮮總督ノ認可」ト云フコトニナッテ居リマ  
ス、而シテ斯様ニナリマシタ所ガ別ニ財政上ノ統一ヲ破ルト云フコトハアリ  
マセス、ト云フノハサウ云フヤウナ認可ヲ要スルノハ、ドツチカト申シマス  
ト、政府ノ側ノ必要デハアリマセヌノデ、經濟市場ノ情況ガ之ヲ促シテ來ル  
ノデアリマスカラ、其情況、之ヲ許スコトガ仕方ガ無イヤ否ヤト云フコトハ  
成ルベク適當ナ時機ニ急速ニ之ヲ決定スル必要ガアリマスカラ、朝鮮總督ガ  
其認可ヲ與ヘルト云フコトハ相當デアラウト思ヒマス

○西村亮吉君 尙ホ質問ガアリマス、唯今ノ御答ヘデ見ルト、此朝鮮總督ガ  
銀行券ヲ何ボ發行シテモ差支ナイト云フヤウニ聞エマスルガ、詰リ斯ノ如キ  
場合ニハ尙ホ政府ノ許可ヲ得テ發行ニナルベキ筈デアラウト思フモノガ、至

急ヲ要スル場合ハ朝鮮總督ノ認可ヲ經テ發行ヲスルト云フコトニナルト、財  
政ノ統一ヲ闕ガウト思フガ、ドレクヲキ發行ニナッテモ財政ノ統一ハ闕ガ  
ト云フ御見込デアリマスカ、ソレダケヲドウゾ伺ヒタイ

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 此制限外ノ發行ノ場合ニ自ラノ制限ニナリマス  
モノハ、一ツハ茲ニアリマスル如キ國債證券其他確實ナル證券又ハ商業手形  
ト云フモノガ擔保ニナラナケレバナリマセヌカラ、是ガ無クテハ第一制限外  
ノ發行ガ出來マセヌ、又制限外ノ發行ノモウ一ツノ制限ハ謂ハユル發行稅ニ  
於デアリマスノデ、餘リ餘計發行セムトシテ、ソレガ經濟上、宜シクナ  
イト云フコトニナルナラバ、此百分ノ五ト云フノヲ百分ノ六ナリ、百分ノ七ニ  
スルト云フヤウニシテ、發行稅ニ依ッテ自ラ其制限ヲ付ケテ行クヤウニナリ  
マスノデアリマスカラ、此規定其モノニ於テサウ必要モ無イノニ、餘計發行ス  
ルト云フコトハ許サヌヤウナ工合ノ仕組ニナッテ居ルノデアリマス、ソレ故  
ニ經濟市場ガ要スルトキニハ如何ニ之ヲ止メヤウト云ッテモ金ガ要ルノデア  
リマスカラ、出スノ外ハアリマセヌガ、其金ノ要ルト云フノハ、利ガ高クナ  
レバ自然ニ金ヲ求メルコトガ減ッテ來ルカラ、ソレガ自ラノ制限ニナル、ソ  
レデ制限外發行高ヲ制限スルコトハ一ツハ其保證物ニアリ一ツハ其發行稅ニ  
アッテ此兩者ガ自ラ之ヲ調節シテ行クノデアリマスカラ、朝鮮總督ガ制限外  
發行ノ認可ヲ與ヘルト云フコトニナリマシタ所ガ、之ニ依ッテ財政ノ統一ガ  
保テヌト云フコトハ無イト認メテ居ルノデアリマス

○中島永元君 私モ大藏次官ニ質問ヲ致シタウゴザイマス、今西村君ヨリ質  
問ニナリマシタ制限外ノコトニ關係ヲ致シマスルシ、尙ホ此第二項ノ「三千  
万圓ヲ限リ」云々ト、此保證準備ヲモト二千万圓デアッタモノヲ三千万圓ニ  
増加サレタ趣デアリマスカ、本員ハ豫算委員會ニ出テ居リマシタニ依ッテ其  
時ノ委員長ノ御説明ハ承リマセヌデアリマシタガ、何レ保證準備額ヲ増加ス  
ルト云フニハ、金融上、是ダケ無クテハナラヌト云フ御見込デアリマセウケ  
レドモ、元來此保證準備ヲ増スト云フコトハ甚ダ宜シクナイト思フノデア  
リマス、無論二千万圓ヤソコラデハ通貨ガ不足スルカモ知レマセヌ、併ナガラ  
此通貨ノ不足スルノハ其補ヒ様ハ正貨ト云フモノモアルシ、日本銀行ノ兌換  
券ト云フモノモアルシ、ソレデ朝鮮ニハ矢張り又内國ト同様ニ紙幣バカリ流  
通サセル、モウ硬貨ナドハ一掃シテモ構ハヌト云フ政策ニナラウト思ヒマス、

實ニ此内國ノ通貨ノ景況ニ鑑ミテモ甚ダ本員ハ憂フベキコト、思フ、其上ニ今度朝鮮ガ新領土ニナツテ、サウシテ財政其他ノ事モ種々ニ計畫ニナリマスガ、此貨幣制度ニシテモ又内國同様ニ始終紙幣ヲ通貨ヲ濟マサウト云フヤウナ政策ニナツテ本員ハ甚ダ將來ノコトヲ憂慮イタシマスガ、勿論二千万圓、三千万圓要ル所ノ通貨ガ三千万圓ナクテ濟ムノデアリマセヌガ、此伸縮ト云フモノハ通貨ナリ日本銀行兌換券ガアリマスカラ、何時デモ伸縮ハ出來ルノデ、必シモ紙幣デ伸縮スルニ及バヌノデアリマス、將來如何ナル御見込デアリマスカ、現今既ニ日本ノ内地ト云ヒ、朝鮮……臺灣モ同ジコトデアリマスカ、臺灣ハ先ツ遠隔ノ所デゴザイマスカラ別トシテ、朝鮮ナドハ必シモ紙幣ヲ多ク發行シナクテモ、矢張り日本銀行ノ兌換券ナリ通貨ガ流通スルヤウニナレバ尙ホ宜シイと思ヒマスガ、實ハ是ハ大藏大臣ニ質問ヲシタイト思ヒマスケレドモ、大藏大臣ハ御闕席デアリマスカラ次官カラ御答辯ヲ願ヒタウゴザイマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 保證準備ノ發行高ガ唯今マデ二千万圓デアリマシタノガ三千万圓ニナリマシタ爲ニ御質問ガ起ツタト思ヒマスガ、此高ガ三千万圓ト云フコトニ法律ヲ起草サレタノハ朝鮮ガ併合サレタ結果、是カラ急速開發ヲシテ行クデアラウト云フコトハ、ハ申上ゲルマデモナク、豫算ノ關係ニ於テモ又朝鮮總督ガ朝鮮ノ經營ニ付イテ御説明ナサレタ上カラ御聞キニナツテ居ル點カラ申シテモ、朝鮮ノ開發ガ從來トハ違ツテ今後急速ニ進歩セラル、デアラウト云フコトハ略、御想像ガ付クコトデアラウト思フ、斯様ニ朝鮮ノ開發ガ急ニ發達シテ行キマスルト云フコトハ、即チ此通貨ガ今日ヨリモ急ニ其需要ヲ増スデアラウト云フコトノ想像ガ付ク結果ニナラウト思ヒマスノデアリマス、勿論、此信用制度ガ盛ンニ行ハレマス所デアリマスレバ、必シモ通貨ヲ増スト云フコトガナクテモ宜イカ知レマセヌガ、朝鮮ノ如キ此小切手トカ手形ト云フヤウナモノ、流通ノ盛ンデナイ所ニ於キマシテハ、經濟狀況ガ急ニ進歩イタシマスレバ、ソレニ伴ツテ通貨ノ需要ノ増スト云フコトハ、是ハ申上ゲヌデモ御分リニナツテ居ルコトデアラウト思ヒマス、ソレガ即チ此度此二千万圓ノ保證準備額デアッタモノヲ三千万圓ニ増サレル次第デアリマシテ、其外私ノ考ヘマスニ、朝鮮デハ是マデ此元ノ朝鮮ノ補助貨ノ葉錢ト云フモノガ行ハレテ居ルヤウナモノデ、ドウシテモ此經濟上ノ關係

ガ進歩スレバ進歩スルホド便利ノ通貨ヲ使用スルト云フ方ガ増スデアラウト思フ、非常ナ重量ナモノデ之ヲ運搬スルニ非常ニ金ガカ、ルト云フヤウナモノヨリモ、携帶ニ簡便ニシテ又運搬ニ便利ナ方ニ自然移ツテ行クモノト見ナケレバナリマセヌノデアリマス、其關係カラ云ウテモ、朝鮮銀行券ト云フモノ、需要ハ殖エナケレバナラヌト思ヒマス、ソレデ今申上ゲタ經濟ガ、今後急速ニ發達、竝ニ唯今申上ゲル普通貨幣ノ便利ノ貨幣ヲ使フト云フ關係カラシテ、朝鮮銀行券ノ發行高ヲ二千万圓デアッタモノヲ三千万圓ニ増加スルト云フコトハ、是ハ相當ノコトデアラウト思ヒマス、サウ増サヌデモ正貨ヲ備ヘタラ宜イデハナイカ、或ハ日本銀行ノ兌換券ヲ流通セシメテ宜イデハナイカト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、日本銀行ノ兌換券ト朝鮮銀行ノ銀行券トサウ實質ニ於テ違フ所ハナイノデアリマス、何トナレバ朝鮮銀行ノ銀行券ト云フモノハ正貨ヲ準備スルカ、或ハ日本銀行ノ兌換券ヲ準備スルト云フ下ニ於テ發行スルモノデアリマスカラ、日本銀行ノ兌換券ト朝鮮銀行ノ兌換券トハサウ大シテ違ツタモノトシテ觀察スルニ及ブマイト思ヒマス、ソレデ若シ朝鮮銀行ノ銀行券ノ保證準備ノ高ヲ増サヌト云フコトニナツテ、サウシテ一方通貨ノ需要ガ非常ニ多イト云フコトデアリマスレバ日本銀行ノ兌換券ヲ増スト云フ必要ガ起ルカモ知レマセヌ、ソレデ何レニシテモ通貨ノ需要ガ増スト云フコトデアリマスレバ、茲ニ朝鮮銀行ノ銀行券發行高ニ對シテ保證準備二千万圓デアッタモノヲ三千万圓ニ増スト云フコトハ其實際ノ必要ニ應ズルモノデアアル、斯ウ云フ考ヘデ居リマス、何レノ點カラ見マシテモ是ハ相當ノコトデアラウト考ヘマス

○中島永元君 日本銀行兌換券ヲ増スト云フコトニ御聽取リニナツタヤウニ思ヒマスガ、本員ハサウデナイ、元來、日本銀行ノ兌換券ノ保證準備高モ多過ギルト思ヒマス、併ナガラ今サラ茲デ制限ヲ減縮スルト云フコトニハ參リマセヌカラ、丁度新領土ガ出來レバ其所ニ又日本銀行ノ兌換券ガ流通スルヤウニナリマスレバ、幾ラカ貨幣ノ減縮ト云フヤウナ意味ニナル、ソレデ日本銀行ノ兌換券ヲ増シテ朝鮮ノ保證準備ハ減ズルト云フ譯デアリマセヌノデアリマス、ソレデ本員ガ先刻御尋ネシタノハ畢竟日本デモ朝鮮デモ此帝國内ニハ元來硬貨ハ流通スル必要ハ無イト云フ政府ノ見込カトモ思ヒマスガ、サウ云フ御政策デアリマスカ、本員ハ其邊ガ一向分ラヌノデアリマスカラ、ソレヲ甚ダ心配シテ居ルノデアリマス、是非、通貨ハ紙幣ニ限ルト云フ政策ト

ハ見エマセヌガ其邊ハドウデアリマスカ

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 政府ハ決シテ市場ニハ兌換券ノミヲ通用サセテ、硬貨ハ少シモ流通ガ無イコトヲ望ムヤウナ意味ハ無イノデアリマス、勿論、硬貨ガ市場ニ流通スルヤウニナリ、兌換券ト共ニ市場ニ用キラレテ居ルヤウナ情況ニナルコト、歐羅巴各國ノヤウデアアルコトハ望マシイコトデアリマス、又今日ノ日本ノ制度ニ於テ硬貨ヲ使ヒタイト思ヘバ、自由ニ兌換券ヲ兌換シテ使フコトガ出來ルヤウニナツテ居リマスノデ、決シテ今ノ日本銀行ノ兌換券ト云フモノヲ是ハ紙幣デアアルト云フヤウニ簡單ニ御覽ニナルニモ及ブマイ、是ハ何時デモ硬貨ニ換ヘ得ル所ノ兌換券デアリマスカラ、硬貨ヲ以テ流通シタイト云フ人ガアレバ何時デモソレハ出來ルノデ、唯事實ニ於テ携帶ニ便利ナルモノデアアルカラ、人が兌換券ヲ使ッテ之ヲ硬貨ニ換ヘナイト云フダケノコトデアリマス、何時デモ換ヘテ使ヒタイト思ヘバ使ヒ得ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、又政府ハ決シテ紙幣ノミ世間ニ流通サセテ硬貨ハ世間ニ出サヌヤウニスルガ宜イナド、云フ考ヘハ少シモ持チマセヌノデ、ソレヲ需要スル人が硬貨ヲ使ヒタイト思フ人ガアレバ、無論ソレニナツテ宜イト思ヒマス、此點ニ於テ少シモ中島サンノ御考ヘト變ツタ考ヘハ持ッテ居リマセヌ

○子爵曾我祐準君 本員ハドウカ讀會ヲ省略シテ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○子爵稻垣太祥君 賛成

○伯爵寺島誠一郎君 賛成

○子爵入江爲守君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○磯邊包義君 賛成

○田邊輝實君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○子爵新莊直陳君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案全部、特別委員長ノ報告通りテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵曾我祐準君 此際議事日程ヲ變更サレマシテ、貴族院及衆議院速記技手ノ官年月數ニ關スル法律案、此議事ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵西五辻文伸君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ議事日程追加ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ貴族院及衆議院速記技手ノ官年月數ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告

貴族院及衆議院速記技手ノ官年月數ニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月二十一日

右特別委員長

子爵 曾我 祐準

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 此案ハ今日午前ニ於キマシテ委員會ヲ開キ議了イタシマシタ、本案ハ一昨年來ノ問題デアリマシテ、尤モ多少ノ違ヒハアリマスガ、大體ノ趣意ハ同様デアリマス、是ハ當貴族院及衆議院ノ速記ノ事務ニ服シテ居ル技手、其人タチノ恩給、遺族扶助ニ關スル問題デアリマス、提出ノ理由ハ此兩院ノ速記技手ノ官制ハ明治三十年ニ勅令三百四十九號及第三百五十號ヲ以テ發布セラレテ三十二年四月一日ニ至ッテ初メテ之ガ實施サレタノデア

リマス、然ルニ速記技手ニ任ジタ者ハ明治二十三年帝國議會開設ノ日即チ速記事務創設ノ時ヨリ幾多ノ困難ヲ重ネテ、今日ノ技手ヲ以テ兩院ニ就職セシメタノデアリマスガ、當時ハ未ダ官制ノ制定ガ無カッタ爲ニ、十年間ト云フモノハ恩給ニ拔ケルト云フヤウナ譯ニナリマス、勿論帝國議會ノ始マッタ時分、速記ハ一向世間ニハ分ラナイ、又ドレクラキ必要ナモノカ、有用ナモノカ、又之ヲ間違ヘバドレクラキ不都合ナモノデアリカト云フヤウナコトハ、其時分ニハ一向經驗ノナイコトデ、深ク考ヘラレテ居ラナカッタと思ハレマス、御承知ノ通り速記ハ餘程普通ノ學問ノ出來タ人デナイト出來マセス、今日ハ普通學ナント云フモノハ……專門學ノ發達スルト共ニ普通學ナドヲシテモ金ニハナラヌモノデアリマス、全體何カ普通ノコトハ……專門ガアレバ賣レルモノデアリガ、速記ナドヲスル者ハ技術ノ外ニ普通ノ學問ヲ有ッテ居ラナケレバナラス、何ガ問題ニナルヤラ知レス、ドウ云フ議論ガ出ルカモ知レマセス、ソレヲ速記スルニハ普通ノ學問ガ十分ニナケレバナラスト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、然ルニ此恩給ノコトガ斯ノ如クニ闕ケテ居リ、斯ノ如ク優待サレヌト云フコトヲ以テ、有力ナ人ハ追々他ニ去ルト云フヤウナ憂ヒモアリマス、ソレデ明治二十三年以後三十二年四月ニ至ル期間ニ於テ雇又ハ臨時雇ノ名義ヲ以テ、兩院ニ速記事務ヲ執ッタ者ノ其雇勤務ノ年月數ヲ合セテ加算シタイト云フ、斯ウ云フコトデアリマス、此人員ハドレ位アルカト申セバ、兩院僅ニ三十三人、現在員ガ……勿論現在以後ハ生ズル譯ハアリマセス、ソレカラ金高ハ幾ラカト云フト、三百八十五圓クラキノモノデアリマス、委員會ニ於テハ政府委員ニ來テ貰ヒマシテ意見ヲ聞キマシタガ、政府委員ハ極メテ之ニ類例ナコトモアッテ賛成ハ少シ仕カネルヤウニ申サレマシタ、ソレハ試補、見習ナド云フ者ガ此恩給年數ニ數ヘラレヌ者ガアルト云フコトヲ以テ理由トセラレマシタケレドモ、試補、見習ナド云フモノハ元來ソレダケノ技能ガ無ク、ソレダケノ資格ガ無イニ依ッテ試補、見習ト云フモノニナッテ居ルノデアリマスガ、此速記者ハソレダケノ技能モアッタカラ、ソレダケノ十分ナル職務ガ勤マッタノデ、諸君、第一議會以來ノ速記録ヲ御覽ナサレテ分ル譯デアアル、唯官制ハ當時、速記者ヲ卑シク見タ爲ニ設ケナカッタ其結果ニ外ナラヌノデアリマスカラ、他ノ試補ヤ見習ナドニ比スルノハ私ハ甚ダ不當ナコト、委員ハ皆考ヘマシタノデアリマス、斯ノ如キ譯デアリマスシ、又他ニ果シテ恩給ニカ、ルベキ同様な者ガアッテ、斯ノ如キ何カ間違ミ

タヤウナコトデ、恩給ニカカラス者ガアッタラバ、是ハ御遠慮ナク政府ガ提出ナサルガ當然、政府ノ義務ダラウト思フ、何カ法律ノ間違ヒカ、當時ノ意リカ、或ハ油斷ノ爲ニ恩給ニカ、ラヌ者ガアッタラバ、遠慮ナク御提出ナサルガ宜カラウト思ヒマスニ依ッテ、一向反對ノ理由トハ私ハ聽取ラナカッタノデアリマス、又今日モデアリマスガ、今日以後益々速記ナドハ必要ニナッテ來ル、殊ニ帝國議會ノ速記ナドハ、衆議院デアラウガ、貴族院デアラウガ、非常ニ必要ナモノデアリマス、即チ是ガ新聞ニ載リ、或ル問題ニ依ッテハ世界萬國ニ忽チ電報デ行クト云フコトデアリマスカラ、速記録ノ必要ナコトハ申スマデモ無イコトデアリマス、速記者ヲ優待スルト云フコトハ時ニ取ッテ非常ニ必要ナコトデアラウト思ヒマスカラ、衆議院ノ此案ニハ委員ハ全部賛成ヲ致シマシタ、十五分間バカリデ議了イタシマシタ、ドウゾ滿場諸君、三分間バカリデ、御賛成ヲ願ヒマス

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 唯今、委員長カラ御報告ニナリマシタル所ノ本案ニ對シマシテハ、甚ダ遺憾ナガラ政府ハ賛成ヲ表シカネマスノデアリマス、唯今委員長カラ御報告ニナリマシタル通りニ本案ハ多少其形ハ異ッテ居リマスルガ、一昨年本院ニ回リマシテ、本院ニ於カレマシテハ否決ニナリマシタル所ノ問題デアリマス、政府ノ之ニ對シマシテ反對ト申シマスル理由ハ、詰リ恩給法ノ原則ト致シマシテ、判任官以上ニハ此恩給ハ及ボシマスケレドモガ、ソレ以下ノ雇デゴザイマストカ、其他ノ見習デゴザイマストカ、試補デゴザイマストカ、御用掛デゴザイマスルトカ云フ者ニハ、此恩給ハ及ボシテ居リマセヌノデゴザイマス、是ハ恩給バカリニ限リマセズ、總テノモノニ於テ恩典ニ付キマシテハ、必ズヤソコニ一ツノ境界線ガアリマシテ、其標準ト云フモノガゴザイマスルカラ、此境界線タル所ノ標準ヲ變ヘルト申シマスルコトハ、餘程考慮ヲ要スルコトデアラウト考ヘマスノデ、一タビ此境界線ヲ變更イタシマシタナラバ、ドコデ是ガ止マルカト云フコトハ甚ダ懸念ニ堪ヘナイ次第デアリマス、加之一タビ此原則ニ對シテ除外例ヲ開キマシタナラバ、幾多ノ除外例ヲ作ラナケレバナラスト云フ懸念ヲ致スノデアリマス、段々調べテ見マシタガ、チヨット唯今調べマシタ所デモガ、是以上ノコトガゴザイマスルノデ、遂ニ一タビ此原則ヲ破リマシタナラバ他ニ幾多ノ除外例ヲ作ラナケレバナラスト云フコトヲ苦慮シテ居リマスノデアリマシテ、速記者ニ對シテハ

甚ダ氣ノ毒ダト考ヘマス、又其勞ヲ多トセザルノデハゴザイマセヌガ、是ハ私情デゴザイマシテ法ノ原則ハ奈何トモスルコト能ハズト存ジマス、甚ダ遺憾ナガラ本案ニ向ッテハ反對ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵會我祐準君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵入江爲守君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、特別委員長報告通り

デ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵會我祐準君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵堤功長君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り

デ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、議事ノ都合ニ依リマシテ此際休憩ヲ致シマス、唯今申シマシタ通り本日ハ何卒、諸君ニ於テ御退出ノ無イヤウニ希望イタシマス

午前十一時三十三分休憩

午後一時三十一分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔東久世書記官朗讀〕

本日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

貴族院及衆議院速記技手在官年月數ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵會我 祐準君 副委員長 石井省一郎君

印紙稅法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 伯爵大木 遠吉君 副委員長 田中 芳男君

借地ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵柳 原 義 光君 副委員長 子爵酒井 忠 亮君

廣告物取締法案特別委員會

委員長 伯爵徳川 達 孝君 副委員長 石 黒 忠 惠君

同日行政裁判法中改正法律案兩院協議委員正副議長互選ノ結果左ノ通當選セリ

議長 侯爵黒田 長 成君 副議長 松岡 康 毅君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

貴族院及衆議院速記技手在官年月數ニ關スル法律案可決報告書

印紙稅法中改正法律案可決報告書

煉乳原料砂糖稅法中改正法律案可決報告書

廣告物取締法案可決報告書

同日豫算委員副委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

明治四十四年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)可決報告書

○伯爵大木遠吉君 昨日御委託ニナリマシタ印紙稅法中改正法律案、煉乳原料砂糖稅法中改正法律案、此兩案ノ委員會ニ於ケル御報告ヲ致シタウゴザイマスカラ、此際、日程ヲ變更追加セラレテ議題ニ御上ボセアラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君モ御承知アラセラレマセウガ、動議ハ賛成者

ガ無クテハ成立イタシマセヌ

○子爵本莊壽巨君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 大木伯爵ノ議事日程變更ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ印紙稅法中改正法律案竝ニ煉乳原料砂糖戻稅法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、大木伯爵

印紙稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月二十一日

右特別委員長

伯爵 大木 遠吉

貴族院議長公爵徳川家達殿

煉乳原料砂糖戻稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月二十一日

右特別委員長

伯爵 大木 遠吉

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵大木遠吉君演壇ニ登ル〕

○伯爵大木遠吉君 是カラ印紙稅法中改正法律案、煉乳原料砂糖戻稅法中改正法律案、此兩案ノ委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、東ネテ御報告イタシマスルガ、先ヅ第一ニ印紙稅法中改正法律案ノ方カラ御報告イタシマス、本案ハ御承知ノ通り現行印紙稅法中第五條中ノ改正デアリマシテ、印紙不要ノ條項ニ當ル中ノ事項、ダケノ改正デアリマス、政府委員ニモ質問……説明ヲ請ヒマスルシ、色々委員カラ質問イタシマシタル結果、政府ニ於テモ同意デアリマス、委員會ニ於テハ可決イタシタ次第デアリマス、其眼目ノ條項ハ此契約ニ依ラザル送狀及非營業者ニ發スル賣買仕切書此二ツノモノハ印紙ヲ貼用スルニ及バズ、斯ウ云フコトニ改正イタスノガ大趣意デアリマス、賣買仕切書

ナルモノハ現行ノモノハ色々アリマシテ、一口ニ賣買仕切書ト申シマス中ニモ種々性質ガアリマシテ、或ハ委託販賣ノ如キ種々ナルモノガアリマスルガ、其中色々見解ヲ異ニ致スコトカラシテ遂ニハ裁判所ニ之ヲ訴ヘル、又裁判所ニ於テモ是ノ判決ニ付イテハ色々ノ解釋ガアツテ區々ニナルヤウナ傾向モアリマスガ故ニ本案ヲ提出セラレタ所以デアリマス、大體ニ於テ本案ハ機宜ニ適シタルモノト云フ意味ニ於テ委員會ハ可決シタノデアリマス、右ガ印紙稅法中改正法律案可決ノ大體ノ御報告デアリマス、次ニ煉乳原料砂糖戻稅法中改正法律案、本案ハ元來御承知ノ通り關稅定率ト深キ關係ガアリマシテ、最初、政府ノ提出ノ關稅定率ニ於キマシテハ外國ノ輸入品即チ煉乳、之ニ對シテ輸入品ノ稅率ハ四割ト云フコト出シタ譯デアリマシタガ、衆議院ニ於テ此煉乳ナルモノハ小兒保育ノ必要上、四割デハ高イ、故ニ是ハ二割ニシタ方ガ宜シイ、尤モ其當時、然ラバ内地ノ生産ノ上ニ於テハ甚ダ困ルト云フコトカラシテ其當時二割ニ減ジタ條件トシテ從前ノ通り戻稅ヲ以テ之ヲ保護スルト云フコトガ殆ド前提ニナツテ居タノデアリマス、故ニ此附則第二項即チ四十四年七月十六日限り其效力ヲ失フト云フコトヲ削ルト云フノデ、即チ續イテ尙ホ戻稅ヲ行ヒ、戻稅ノ制度ヲ存置シテ置ク、斯ウ云フ譯デアリマシテ、殆ド其議論ノ餘地ガアリマセヌ次第デアリマス、ソコデ御參考ノ爲ニ委員會ニ於テ政府委員ニ質問シタ要項ノ中ニ、生産額輸入額ノ最近ノ統計ハドウ云フヤウニナツテ居ルカト云フコトヲ尋ネタ、之ニ付イテノ答辯、是ハ最近即チ四十三年ニ於ケル煉乳ノ輸入額、是ハ百七十九万「ポンド」、價ニシテ二百四十二万圓餘、斯ノ如キ額デアリマシテ追々ニ増加スル傾向ヲ有ツテ居ル、併シ此生産額モ追々増加シテ居ルノデアリマス、四十三年ニ於テハ七十七万「ポンド」ダケハ内地ニ於テ生産イタシテ居ル、漸々ニ上ホツテ居ル、併シ茲ニ最モ御留意ヲ願ヒタイコトガアル、即チ四十年即チ戻稅ヲ行ハザル前ニ於テハ此生産額ハ僅ニ二十七万「ポンド」ホカアリマセヌデシタ、其後戻稅ヲ行ヒマシテカラ、四十一年、四十二年、四十三年ト逐次生産額ヲ増加シテ前述ノ如ク四十三年度ニ於キマシテハ七十七万「ポンド」ヲモ生産スルヤウニナリマシタ、然ルニ此七月十六日限り戻稅ノ制度ヲ廢止シマスルト非常ナル是ハ生産上ノ打撃デアリマス、ソレカラ此戻稅ヲ行ウタナラバ收入ニ於テ何程ノ減額ヲ來タスカト云ヘバ、四十二年度ニ於テ此戻稅ノ總額ガ僅ニ二万二千圓デアアル、四十三年度ニ於テハマダ確定ハ致シマセヌガ、約三万三千クヲキ

ノ見込デアル、斯ウ云フ政府ノ御答辯デアリマシタ、生産業ヲ發達スルト云フコトハ全體ニ於テ最モ是ハ獎勵セネバナラヌ、併ナガラ一面ニ於テ收入ニ異常ナル闕損ト云フコトハ是モ亦留意セネバナラヌガ、僅ニ三万三千圓ノ收入ガ減ルト云フダケノコトデアアル、況ヤ又此關稅定率改正ノ歴史的结果トシテ現ハレタモノデアリマスガ故ニ、是モ當然改正スルコトガ尤モデアラウ、斯ウ云フ意味ニ於テ委員會ニ於テハ滿場一致ヲ以テ可決シタ次第デアリマス、右兩案ノ御報告、斯ノ如クデアリマス

○伯爵松平賴壽君 讀會省略ノ動議ヲ提出イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案トモデスカ

○伯爵松平賴壽君 兩案……

○子爵黒田和志君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○田中芳男君 賛成

○田邊輝實君 賛成

○男爵德川厚君 賛成

○男爵武井守正君 賛成

○伯爵大木遠吉君 賛成

○伯爵德川達孝君 賛成

○岩村兼善君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 松平伯爵ノ兩案トモ讀會ヲ省略スルト云フ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案トモ特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第七、地租條例中改正法律案、衆議院提出、第八、登録稅法中改正法律案、衆議院提出、第九、國稅徵收法中改正法律案、衆議院提出、第十、營業稅法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

地租條例中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十九日

右特別委員長

伯爵 廣澤 金次郎

貴族院議長公爵德川家達殿

登録稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十九日

右特別委員長

伯爵 廣澤 金次郎

貴族院議長公爵德川家達殿

國稅徵收法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十九日

右特別委員長

伯爵 廣澤 金次郎

貴族院議長公爵德川家達殿

營業稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十九日

右特別委員長

伯爵 廣澤 金次郎

貴族院議長公爵徳川家達殿  
〔伯爵廣澤金次郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵廣澤金次郎君 唯今議題ニ上ホリマシタル地租條例中改正法律案外三件ノ委員會ノ結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、是等ノ法案ノ委員會ハ一日、他ノ政府ノ租稅改正案ト共ニ議シマシテ、其結果ト致シマシテ、委員會ニ於キマシテハ地租條例中改正法律案ハ否決ニナリマシタ、登錄稅法中改正法律案、是モ否決イタシマシタ、國稅徵收法中改正法律案及營業稅法中改正法律案、此二案ハ委員會ニ於テハ可決イタシタノデゴザイマス、各案ニ付イテ要領ダケ茲ニ御報告申上ゲマス、此地租條例中改正法律案ハ地租ノ現今ノ納期ガ五月デアリマスルノ之ヲ六月ニ延期シタイト云フノガ本案ノ衆議院提出ノ理由デアリマス、之ニ付キマシテ政府ノ意見モ質問ヲ致シ、又政府自ラ答フル所ガアリマシテ、ソレニ依リマシテ政府反對ノ理由ヲ一應申上ゲテ置カウト考ヘマスルガ、第一ニハ地租ノ納期ヲ現行ノ五月ヲ六月ニ延期イタシマスルト云フコトハ、國庫ノ收入ノ點ニ於テ非常ナ不便ヲ來タスト云フコトデアリマス、ナゼナラバ金額ニ於テハ千二百萬圓ト云フモノガ五月ニ國庫ニ收入ニナリマスルノガ、一月延ビマシテ六月ニナルト云フコトデアリマスルカラ、國庫ノ收入ト云フコトニ於テ大ナル結果ヲ來タストデアリマス、而シテ此五月ガ六月ニナルト云フコトガ果シテ民間ニ便利デアルカト云フコトモ攻究シテ見マスルト却ッテ六月ハ各會社ハ勿論ノコト、其他一個人ノ營業ニ於キマシテモ六月ト云フモノハ通常半期ノ決算ノ時期デアリマスカラ、是等ト同時期ニナルト云フコトハ却ッテ人民ニハ不便ニナラウカト云フ懸念ガアルノデゴザイマス、斯ノ如キ理由デ別ニ是ハ斯ノ如キ改正ヲ要シマセスト委員會ニ於テハ認メマシテ、是ハ全會一致ヲ以テ否決ニナリマシタノデゴザイマス、次ニ登錄稅法中改正法律案ノ委員會ノ審査ノ要領ダケヲ申上ゲマスガ、本案モ同ク衆議院提出案デアリマスルガ、衆議院ノ此改正ヲ加ヘマスルト云フ理由ハ此「公共團體ニ於テ公用ニ供」ト云フ下ニ「シ模範造林ニ充テ又ハ市町村若ハ公立學校ノ基本財産ニ供」ト云フ字ヲ加フルト云フノガ衆議院ノ改正案デアリマスルガ、即チ模範造林ト市町村ノ學校ノ基本財産ヲ登錄稅法中ヨリ削除シマシテ即チ之ニ免稅ヲシヤウト云フノガ本案ノ衆議院ノ改正ノ理由デアリマスルガ、此模範造林ト云フコトハ既ニ公共ノ團體ニ於テ公用ニ供スト云フ意味ノ内ニ十分含ンテ居ルト云フ政府ノ説明デアリマシタカラ、殊ニ

此模範造林ト云フ字ヲ此所ニ入ル、必要ガナイト云フコトニ委員會デハ認メマシタノデゴザイマス、又一方デハ市町村若ハ公立學校ノ基本財産ト云フモノハ一番收益ヲ目的トスル基本財産デアリマスカラ、是ハ稅則ニ於テ收益ヲ目的トスルモノニ免稅スルト云フコトハ原則ニ反シテ居リマス、デアリマス、故ニ一方ノ模範造林ト云フ方ハ既ニ公用ニ供スルト云フ文字ノ内ニ含ンデ是ハ當然今日ト雖モ免稅ニナルノデアリマス、又片ッ方ノ基本財産ノ方ハ是ハ收益ガ目的デアリマスカラ、是等ノモノヲ免稅スルト云フコトハ如何デアルカト云フコトデアリマシテ、委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ否決ヲシタノデアリマス、其次ノ國稅徵收法中改正法律案、本案モ是モ衆議院ノ提出案デアリマスルガ、衆議院ノ提出ノ理由ハ現今國稅ニ於キマシテ營業稅、所得稅等ニ於キマシテハ、是ノ徵收ニ對シテ市町村ニ交付金ヲ國庫ヨリ支出スルト云フノガ原則ニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ地租ノミハ今日ト雖モ之ガ交付金ヲ一文モ支出シテナイノデアリマス、トコロガ衆議院ノ之ガ改正ヲ必要トスル理由ト致シマシテ地租ノ如キモ他ノ諸稅ト異ナラズ、隨分徵收手數モカ、ルコトデアル故ニ、地租モ所得稅、營業稅ト同様ニ、之ニ幾分カノ交付金ヲ支出スルト云フノガ當然デ必要デアラウト云フノデ、衆議院ハ斯ノ如キ改正案ヲ提出サレタト云フコトデアリマス、而シテ此率ノ所ニ於キマシテ、元々衆議院ガ當初政府ト交渉ノ率ハ地租ニ對シマスル交付金モ他ノ營業稅若クハ所得稅ト同様百分ノ四ノ交付金ヲ市町村ニ與ヘヤウト云フノガ衆議院ノ元々ノ意思デアッタト云フコトニ聞キマシタガ、然ルニ若シ地租ニ他ノ所得稅、營業稅同様ノ交付金ヲ與ヘマスルコトニナリマスルト、國庫ヨリ年々交付金トシテ支出セネバナラヌモノガ三百萬圓ニ至ルノデアリマス、是ハ今日ノ國庫ノ狀態及政府ノ財政上、三百萬圓國庫ヨリ交付金トシテ支出スルト云フコトハ、今日ハ到底出來得ベカラザルコトデアリマス、故ニ之ヲ千分ノ七ト致シタノデアリマス、而シテ此千分ノ七ト云フモノハ如何ナル額ニナルカト申シマスレバ、是ハ約五十三萬圓ホドニナルノデアリマス、即チ追加豫算第四號デ政府ガ要求シテ居リマスノガ即チ五十三萬幾ラニナル、此額ニナルノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、委員中ノ一人ヨリ之ニ反對說ガアッタノデアリマス、其反對說ノ要領ダケ申上ゲテ置キマスガ、地租ト云フモノハ他ノ所得稅又ハ營業稅トハ全然、沿革史ニ於テ異ッテ居ル、即チ地租ト云フモノハ土地ニ屬シテ居ル租稅デアッテ是ハ古來、村方ガ纏メテ納メル

ト云フノ古來ノ習慣デアル、他ノ營業稅ヤ所得稅ト同一ノ稅ト見ルベキモ  
ノデナイ、故ニ日本ノ今マデノ租稅徵收ノ沿革史ニ考ヘテ、是等ノ所得稅ヤ營  
業稅ト同様ニ見テ交付金ヲ與フベキ性質デナイト云フノガ一ノ反對ノ理由デ  
アッタノデアリマス、モウ一箇條ハ、若シ果シテ必要アリトシテ、地租ノ徵  
收ニモ市町村ニ交付金ヲ與ヘルトスルナラバ、地租ハ却ツテ所得稅營業稅ニ  
比シテ手數ノ多イモノデアル、然ラバ手數料トシテ交付金ヲ與フルナラバ、  
此率モ同一ニシテ、他ノ所得稅營業稅ト同様ノ率ヲ與フルノガ公平デアラウ、  
然ルニ所得稅營業稅ニハ百分ノ四ノ交付金ヲ與ヘ、地租ノ方ニハ百分ノ七ト  
云フ幾ラカ輕減シタル交付金ヲ與ヘルト云フコトハ權衡ヲ失スルノデアル、  
故ニ是等ノ問題ハナカノ、重大ナル問題デアルニ依ツテ、宜シク審議ヲシタ  
上デ決スベキデアル、今日此會期切迫ノ際ニ是ハ調査材料ガマダ十分デナイ  
ニ依ツテ延期ノ意味ヲ以テ否決スベシト云フ意見ガ委員中ノ一人ヨリ反對說  
トシテ出タノデアリマス、然レドモ今日ノ場合ニ方リマシテ其一人ノ反對ヲ  
除キマシテハ、アトハ全部是ハ原案ニ賛成セラレマシテ、即チ大多數ヲ以テ  
委員會ニ於テハ衆議院提出案ヲ可決シタ次第デアリマス、第四、營業稅法中  
改正法律案、是モ同様ニ衆議院提出ノ案デアリマス、而シテ衆議院ノ此改正  
ヲ必要トシマスル理由ニ付イテ申上ゲマスレバ、昨年本議場ヲ通過シマシテ、  
今日法律トナツテ居リマス輕便鐵道法ニ據ツテ輕便鐵道法ノ鐵道ト認メラレ  
タモノニ對シテハ、私設鐵道法ニ據リマシテ、營業稅ヲ課セラレタルモノト  
同様ノ營業稅ヲ付シヤウト云フノガ、衆議院改正案ノ骨子デアリマス、之ニ  
付キマシテハ政府ノ説明及委員中ノ質問ニ對スル政府ノ答辯ニ依ツテ得タ結  
果ヲ申上ゲマスレバ、營業稅法ニ於テハ此鐵道業ト云フモノ……鐵道業ト運  
送業ト、此二様ニ認メテ是ガ課稅ニナツテ居ルノデアリマス、即チ鐵道業ニ  
依ツテ課稅サレルモノハ私設鐵道法ニ據ツテ許可ヲ得タ鐵道業トシテ課セラ  
レ、又鐵道運送業ノ下ニ課セラレタノデアリマス、而シテ此稅率ノ點ニ於キ  
マシテハ如何ナル結果ヲ來タシマスルカト云フト、鐵道業トシテ認メラレタ  
ル鐵道業ハ、是ガ營業稅ヲ課スルニ當リマシテハ、其課稅ノ標準ハ收入金額  
ト云フコトニナツテ居リマス、而シテ私設鐵道法ニ據ル鐵道以外ノ運送業ト  
シテ課稅シマスルト、資本金額ニ依ツテ課稅サレルノデアリマス、其結果ハ  
固ヨリ收入金額ヲ以テ課稅サレルノデ、營業稅ノ方ハ資本金額ヲ標準ニシテ  
課セラレマスルカラ、營業稅ヨリ少イト云フ結果ニナルノデアリマス、而シ

テ衆議院ノ此提出ニナリマシタ輕便鐵道法ハ、即チ營業稅ノ少イ方ノ率、即  
チ收入金額ニ依ツテ課稅サレル私設鐵道法ニ據ツテ認メラレテ居ル私設鐵道  
ト同様ノ率ヲ以テ營業稅ヲ課シテ貰ヒタイト云フノガ衆議院ノ改正ノ理由デ  
アリマス、而シテ政府ガ此鐵道ニ營業稅ヲ課スルト云フ稅法上ノ原則ハ如何  
デアルカト云フコトヲ尋ネテ見マシタガ、原則ト致シマシテハ資本金額ヲ標  
準トシテ課稅スルコトガ原則デアアルト云フコトデアリマス、併ナガラ政府ノ  
豫定收入ニハ是ガ假令收入金額ヲ標準トシタ課稅ニナリマシテモ、政府ノ收  
入ニハ少シモ變更ヲ來タサス、故ニ政府ハ之ニ同意スルト云フコトデアリマ  
シタ、委員會ニ於キマシテハ政府ノ辯明ヲ聽キ、衆議院提出ノ理由ヲ尤モト  
認メマシテ、委員會ニ於キマシテハ此營業稅法中改正法律案ハ衆議院ノ提出  
案ヲ全會一致ヲ以テ可決シタノデアリマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ議事日程第七ノ議案ニ付イテ採決イタシマ  
ス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數  
○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵德川家達君) 次ニ議事日程第八、登錄稅法中改正法律案ニ付イ  
テ採決シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵德川家達君) 起立者ハ無イト認メマス

○伯爵廣澤金次郎君 第九ト第十八、委員會ニ於キマシテ可決ノ報告ニナツテ  
居リマス、別ニ御異議ガアリマセヌコトナラバ、第九ト第十八讀會ヲ省略サ  
レテ、直チニ確定セラレムコトヲ希望シマス

○伯爵大木遠吉君 讀會省略賛成

○伯爵寺島誠一郎君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○男爵眞田幸世君 賛成

○小野田元熙君 賛成

○田中芳男君 賛成

○男爵金子有卿君 賛成

○男爵徳川厚君 賛成

○田島竹之助君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○男爵南光利君 賛成

○男爵伊丹春雄君 賛成

○岩村兼善君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 廣澤伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案トモ特別委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵三島彌太郎君 此際日程ヲ變更サレマシテ、此四十四年度歳入歳出總豫算追加第四號ヲ議題ニ供セラレムコトヲ請求シマス

○子爵曾我祐準君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 三島子爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ明治四十四年度歳入歳出總豫算追加案第四號、會議ヲ開キマス、委員長報告、三島子爵

一明治四十四年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

右衆議院ヨリ送付シタル案ヲ審査シ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月二十一日

豫算委員副委員長

子爵 三島彌太郎

〔子爵三島彌太郎君演壇ニ登ル〕

○子爵三島彌太郎君 此明治四十四年度歳入歳出總豫算追加案第四號ノ審査ノ經過ト結果ヲ御報告申上ゲマス、此案ノ審査ハ今朝午前十時ニ開會イタシマシテ、先ヅ政府ノ説明ヲ求メマシテ、ソレヨリ段々ニ質問ガゴザイマシタ、ソレデ質問ガ終リマシタ結果、一ノ希望ガ出マシタ次第ゴザイマス、唯今其大要ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、第一ノ質問ハ此地租ノ徵收手数料ヲ千分ノ七ト定メタノハ是ハ他ノ國稅徵收手数料ト大ニ懸隔ガアルガ、是ハ同ジニスベキモノト思フガ、政府ハ之ヲ同ジヤウニスル考ヘガアルカ、斯ウ云フ質問ゴザイマシタ、ソレニ對シマシテ政府ノ答辯ハ是ハ同ジニシタイト云フ考ヘハ持ツテ居ル、サリナガラ若シモ之ヲ殘ラズ百分ノ四ニ致シタラ俄ニ三百万圓以上ノ負擔ガカ、ルノデアアル、ソレ故ニ是ハ到底急ニ行フコトハ出来ナイ、又此千分ノ七ト云フモノヲバ是マデ他ノ國稅ノ手数料ニ加ヘテ平均シテ見ルト、約百分ノ二即チ千分ノ二十ト云フ割合ニナルノデアアル、之ヲ一定スレバ宜イノダケレドモ、若シ之ヲ一定スルト、市ニ於テハ所得稅、營業稅等ノ手数料ガ餘計ニナツテ居ルノデアアルカラ、是ガ俄ニ減ジテ困難ヲ感ズルト云フコトニナル、ソレ故ニ今急ニ之ヲ行フコトハ出来ナイカラ、先ヅ千分ノ七ト云フ割合ヲ定メタノデアアルガ、或ル時機ニ於テ若シサウ云フコトヲ爲シ得ル時機ガ來タラ、サウシタク思フ、斯ウ云フ答辯ゴザイマシタ、ソレカラ、又延滞金ヲ定メタノハ、ドウ云フ譯デアアルカ、又豫算ニ其收入ガ載ッテ居ナイノハ、ドウ云フ譯デアアルカト云フ、斯ウ云フ質問ゴザイマシタ、ソレニ對シテ延滞金ヲ定メタノハ地租ヲ納メ得ル者ガ日歩ノ得ラシヤウト云フ所カラ、之ヲ銀行ニ預ケテ置イテ、故ラニ納メナイ者ガアル、納メラレル者ガ納メナイノデアアル、サウ云フ者ナドノ爲ニ之ヲ設ケタノデアアル、極ク貧困者ノ爲ニヤッタノデナイカラ、サウ云フモノハ勅令ヲ以テ延滞金ノコトヲ定メル時分ニ除ク積リデアアル、又之ヲ豫算ニ上ゲナカッタノハ政府デハ無論斯ウ云フコトノ無イコトヲ望ムシ、又今日ニ於テ何程デアアルカト云フコトハ到底見込ガ立タナイ、ソレ故ニ之ヲ載セナカッタノデアアル、斯ウ云フコトデアリマシタ、ソレカラ又此歳出ノモウ一ツノ方ハ即チ蠶業講習所ノ燒失

ニ付イテ復舊ヲ圖ル方、之ニ付キマシテ質問ガゴザイマシタ、ドウモ兎角、火災ノ復舊費ガ多イヤウデアアルガ、コ、五年間カ十年間ノ統計ヲ取ッタモノハ無イカ、一年間ニ凡ソ平均ドノ位ニナッテ居ルカト云フ質問モ出マシタ、之ニ對シテ政府ハ今統計ハ此處ニ持ッテ居ラヌガ、調ベテアルカラ出スト云フコトゴザイマシタ、ソレカラ又火災ハ兎角過失カラ出ルモノデアアル、サウスト木造ノ建物ハ或ル程度マデハ免レナイカラ、是ハ保險ヲ附ケル考ヘハナイカト云フ質問ガゴザイマシタ、ソレニ對シテ政府ハ保險ト云フコトニ付イテハ、ナカノ考ヘナケレバナラヌ問題デアアル、今マデモ專賣局ノ建物ニ附ケタノモアル、併シ是ハ全體ニ付イテハ大ニ考慮スベキ問題デアアルト云フ答辯ゴザイマシタ、ソレカラモウ一ツハ手數料ハ四十四年度カラ之ヲ適用スルト云コトガアル、是ハ質問ガ少シアトニ返リマシタガ、手數料モ此四十四年度カラ適用スルト云フコトハ、是ハ四十四年度中ニ取ルモノニ付イテハ皆適用スルノデアアルカ、例ヘバ四十三年度ノ地租ヲ四十四年度中ニ徵收セラ、ヤウナモノハ如何ニスルノデアアルカ、斯ウ云フ質問ガ出マシタ、ソレニ對シテ四十四年度ニ徵收サレルモノハ假令四十三年度ノ地租デアッテモ、矢張り其手數料ヲヤルノデアアル、斯ウ云フ答辯ゴザイマシタ、ソレカラ一ツノ希望ガ出マシタ、其希望ハ此火災ハ年々アッテ誠ニ是ハ憂フベキコトデアアル、是ハ天災ニ因ルノモアラウ、又其原因ガ不明ノモアラウ、併ナガラ多クハ是ハ過失カラ來ルノデアアル、ソレ故ニ政府ハ以後十分注意シテ假令一時經費ガカ、ッテ、多少ノ經費ヲ要シテモ火ノ元ノ用心ヲスルヤウ、能ク取締ルヤウニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ希望ゴザイマシタ、此希望ヲ述ベラレマシタ後ニ、此豫算ニ付キマシテハ何ノ異議モ出マセヌデ、全部原案即チ衆議院ノ送付案通リニ可決イタシマシテゴザイマシタ、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ニ付イテ採決イタシマス、御異議ガ無ケレバ豫算案全部ヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 全部、豫算副委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十一、鐵道敷設法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

鐵道敷設法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十九日

右特別委員長

伯爵 柳澤 保惠

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 鐵道敷設法中改正法律案、是ハ御覽ノ如ク衆議院ノ提出ノ案デゴザイマシテ敷設法第二條ノ一ニ改正ヲ加ヘルノデゴザイマス、即チ和歌山ヨリ湯淺、田邊等ヲ經マシテ新宮ニ至リマス、即チ和歌山カラ海岸ニ沿ウテ回ッテ參ル鐵道デゴザイマス、之ヲ豫定線ノ中ニ加ヘタイト云フノデゴザイマス、之ニ付キマシテハ委員會ニ於キマシテ政府委員ヨリ前同様ナ意見デゴザイマシタ、ソレハ敷設法第二條ニ一號ヲ加ヘルノデアアルガ、之ニ付イテハ政府ハ今サラ之ヲ加ヘル必要ハ認メテ居ラナイケレドモ、別ニ反對スル積リデモナイト云フコトデゴザイマシタ、之ニ付キマシテ一ニ質問ガアリマシタ、第一ノ質問ハ此ノ線路ニ付キテハ將來イツゴロカケルヤウナ見込デアアルカ、此質問ニ對シテ政府ノ答辯ハ、此線路ハマダ十分ニ調査ラシテ居リマセヌ、僅ニ和歌山ヨリ湯淺ニ至ル幾分カノ線路ヲ調査シテ居ルケレドモ、全體ニ付イテノ調査ハマダシテ居ラヌト云フコトデアリマス、併ナガラ局部豫定線トシテ出テ居ル線路デゴザイマスカラ將來ハ敷設スルコトモアルデアラウト云フコトデゴザイマス、モウ一ツノ質問ハ鐵道敷設法第二條ノ一ニ改正ハ是マデアッタノカドウカト云フ御質問デゴザイマシタ、之ニ付キマシテ鐵道敷設法ガ二十五年ニ發布ニナリマシテカラ、其近イニ二十八年頃、又三十年頃ニハ單ニ豫定線追加ノミノ改正モアッタノデアリマス、衆議院提出案モゴザイマシタ、政府提出案モゴザイマシタ、併ナガラソレハ極ク舊イコトデアリマシテ、其後ニ至リマシテ今日マデハ其敷設法ノ改正、即チ第二條ノミノ改正ハ無カッタト云フコトデアリマス、是ガ質問ノ要點デゴザイマス、デ別ニ之ニ付イテハ他ニ御發言モゴザイマセヌ、併シ之ニ付イテ一委員ヨリ一ノ希望ガゴザイマシタ、其希望ハ鐵道敷設法ノ二條ヲ改正イタシマシ

テ、豫定線ニ入レルコトハ、ソレハ前ニアツタカモ知レヌガ、其後ハ政府ノ

言ハレテ居ル所ニ依リマス、全然二條ノミノ改正ヲセスト云フコトノ慣例

ニナツテ居ル、即チ此二條ノ改正ヲ致シマスル場合ニハ必ずヤ七條ニ於テ改

正ヲ加ヘテ一期線ニ繰入レテ工事ニ取掛カルト云フ場合ニナツテ居ルノデア

リマス、故ニ此衆議院提出案ハ單ニ豫定線ノ改正ノミデアルカラシテ、此鐵

道敷設ノ慣例カラ申サバ、之ニ御同意ヲナサルノハ如何カト思ハレル、シカ

モ今日マデノ提出案ハ何レモ二條ノミノ改正デアリマシテ、七條ニハ更ニ及

ンデ居ナイノデアリマス、故ニ斯ノ如キ無意味ノ修正ニ對シテハ明カニ反對

ナリ或ハ贊成セスト云フコトヲ言ハレテ差支ナイヤウニ思フ、トコロガ此法

案ガ衆議院ヨリ提出ニナリマシテ、殆ド委員長トシテ私モ三度茲ニ上ボツテ

居リマスガ、イツモ政府ノ答辯ハ甚ダ曖昧デアアル、贊成トモ申サズ、不贊成ト

モ申サレスト云フ風デアアル、是ハ甚ダドウモ曖昧ナルコトデアッテ、唯之ヲ

考ヘテ見ルト、以前……餘程前ニハ單ニ二條ノ改正ノアツタコトヲ認メタコ

トガアル、併シ近來ニ於テハ斯ノ如キ改正ノミニ止メタコトハ無イ、慣例ニ

關スルコトデモアルカラシテ、之ニ付イテハ政府ハ明カナ態度ヲ決メタラ宜

カラウ、併ナガラ政府ガ之ニ同意スルノハ恐ラクハ經費ニモ別段ニ關係ヲ及

ボス譯デナイカラシテ、衆議院ノ提出案デ其儘通ツタノデアアルカラ、何ダカ

衆議院ノ意ヲ迎ヘルヤウニ見エルノデアッテ、甚ダソレニ付イテハ政府ノ意思

ガ薄弱ノヤウニ考ヘル、又慣例ニモ反スルヤウニ思フ、故ニ將來斯ノ如キ案

ガ衆議院ナリ又貴族院ナリニ上ボリマシテモ其場合ニ於テハ明カニ慣例ニ反

スル點ヲ以テ御反對ニナツタ方ガ鐵道敷設ノ方針ノ最モ經驗ノアル、又方針

ノ決マツテ居ルト云フコトガ分ル、旁、政府ノ威信ニモ關スルノデアアルカ

ラ、明カニ將來ニ於テ斯ノ如キ案ガ出レバ反對ヲスルガ宜カラウト云フ希望

デゴザイマシタ、此希望ハ恐ラクハ一委員ノ希望ノミナラズ、全委員諸君ノ

御希望ヲ代表シテ居ルモノト委員長ハ考ヘマス、斯ノ如キコトデアリマシテ、

此案ハ委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ否決ニナリマシタ、此段御報告

申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス

ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵德川家達君) 起立者ナイト認メマス、本案ハ否決セラレマシ

タ

○伯爵德川達孝君 此際、日程ヲ變更サレマシテ廣告物取締法案ノ第一讀會

ノ續ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵松平康民君 贊成

○三宅秀君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 德川伯爵ノ議事日程變更ノ動議ニハ御異存ゴザイ

マセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ廣告物取締法案第一讀會ノ續ヲ開キマス、

委員長報告、德川伯爵

廣告物取締法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月二十一日

右特別委員長

伯爵 德川 達孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵德川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵德川達孝君 廣告物取締法案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道申上ゲ

マス、此委員會ハ今朝午前十時ニ開キマシテ、正午十二時ニ終リマシタ譯デ

ゴザイマス、慎重ニ審議イタシタ次第デゴザイマス、併ナガラ茲デ御報告申

上ゲルコトハ、今朝濟ミマシタバカリデ、御報告申スノデ順序ガ立タヌカモ

知レマセヌ、或ハ粗雜ニ流レル點ガ無キニシモアラズト存ジマスカラ、若シ

御報告漏デモゴザイマシタキニハ、他ノ委員ノ御方カラ御補ヒクダサルカモ

知レマセヌ、テヨットソレダケヲ御斷リ致シテ置キマス、本案ハ御承知ノ通り

衆議院ノ提出案デゴザイマシテ、此意味ハ本員ガ茲デ申サストモ直チニ御分

リデアアル、詰リ廣告物ヲ取締ルト云フコトデアリマス、政府ノ所見ハ如何デ

アルカ、政府委員ニ尋ネマシタ所ガ、本案ニハ同意ヲ致ス、何故ニ同意ヲス

ルカト申セバ、是マデ此廣告ノ取締ハ治安警察トカ其他ノ法規ニ依ッテ取締

ラシテ居ル、併ナガラ此美觀ト風致ヲ保存スベキ筈デアアルノニ、之ヲ害スル

トキノ廣告ノ取締ハ無カッタ、勿論商業ノ發達ノ爲ニ種々ノ廣告モ表示ニナルト云フコトハ一面ニ於テハ歡迎スルコトデアアル、併ナガラ美景ヲ損シ又ハ風致ヲ損ズルト云フコトハ餘程考ヘナケレバナラヌ、既ニ歐米諸國カラシテ觀光ノ外人ガ來ル、其人タチガ折角、天然ノ風光ノ好イト云フコトハ日本ノ特色デアアルカラシテ、ソレヲ觀ニ參ッタ者ガ一種ノ廣告ノ爲ニ大ニ不快ノ念ヲ感ズルコトガアルノミナラズ、又我ガ日本國ノ風景ヲ保存スルニ於テモ、廣告ノ爲ニ害スルコトガアツテハイケンナイ、斯ウ云フコトガアルニ拘ラス、チヨットソレヲ取締ルト云フコトガ容易ニ出來ナイ、是ハ誠ニ出來ナイ、是ハ誠ニ時宜ニ適シテ居ルモノデアアルカラ賛成スル、斯ウ云フ意見デゴザイマシタ、委員會ニ於キマシテハ種々質問モゴザイマシタ、又内務大臣モ態々出席サレマシタ、政府委員ノ申サレタ如クニ本案ハ時宜ニ適スルカラ賛成スルト斯ウ云フ意味ヲ述ベラレマシタ、質問モナカク、多數ゴザイマシタ、無論速記ヲ付ケマシタノデゴザイマスケレドモ、御承知ノ通り會期切迫デ其速記ヲ御覽ニナルコトハ、チヨット急ニハ出來マスマイケレドモ、大要ハ速記デ御覽ヲ願ヒマス、併シ質問ノ二三點ノ重モナルモノヲ申シマスレバ、一體本案ノ如キハ態々法律ニシナクトモ勅令トカ訓令トカ云フモノデ足りハセヌカ、併シ政府ハ贊成デアアルカ如何デアアルカト云フ質問モゴザイマシタ、其質問ニ對シテノ答ヘハ成ルホド命令訓令デモ宜イカモ知レヌケレドモ、斯ノ如キコトハドウモ命令ヤ何カデハイカヌ、矢張り法律デ規定シテ置カナケレバ取締ニ甚ダ困難デアアル、斯ウ云フ御答ヘデアリマシタ、第二ノ點ハ斯ノ如キ單行ノ法律トセズシテ、現行ノ何カ治安警察トカ云フヤウナモノニ此意味ヲ挿入シタラ如何デアラウ、サウ云フ考ヘハ無イカト尋ネマシタ、其時ニ政府委員ノ答ヘニハ政府ニ於テモ斯ノ如キ事ハ詮議セヌコトハ無イケレドモ、チヨット現行ノ法律ノ上ニ於テハ斯ノ如キ取締ノコトヲ記入スル所ノ法律モ無イ故ニ此單獨法デ宜シイト云フ、斯ウ云フ答ヘデゴザイマシタ、第三ノ質問ハ此廣告物取締ト云フモノハ屋外ノミノ廣告デアアルカ、屋内ニハ關係セヌカ、斯ウ云フ質問デゴザイマス、其時ノ答ヘニハ屋ノ内外ニ拘ラズ廣告物、即チ廣告ヲ表示スル所ノ物件ヲ指ス譯デアアルカラシテ敢テ屋ノ内外ニ關ハル譯デナイ、斯ウ云フ答ヘデゴザイマシタ、第四ハ新聞雜誌等ニモ往々此節ハ不都合ノ廣告ガアル、治安ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スル、家庭ニ於テハ其廣告ヲ子女ニ見スルコトモ出來ヌヤウナコトモアルガ、サウ云フモノモ矢張り此取締法デ取締ルカト云フ

問ヒデゴザイマシタ、其時答ヘマスノニハ新聞トカ雜誌其他ノ書籍等ニアル所ノ廣告ト云フモノハ、是マデノ治安警察法トカ新聞紙法トカ云フヤウナモノデ取締ルカラシテ、本案ハ適用セヌ、斯ウ云フ答ヘデアッタ、第五ノ質問ハ第一條ト第三條ノ規定ハ違ヒハセヌカ、第一條ノ方ハ美觀ヲ損ゼヌヤウニスル、又風致ヲ保存スル爲ニ廣告ノ表示ヲ取締ル、第三條ノ方ハ敢テ美觀ヲ損ジ風致ヲ損ズル譯デハナクシテ、廣告物看板ガ危険ノ虞レガアルトカ、或ハ安寧秩序ヲ害ストカ、風俗ヲ紊ルトカ云フコトガアツテ、前ノトハ少シ違フデハナイカト、斯ウ云フ質問ガゴザイマシタ、其時ニ政府委員ノ答ヘマスニハ質問ノ如クニ一條ト三條トハ自ら違フト云フ答ヘデゴザイマシタ、第六ノ質問ハ一體、廣告物ニ付イテ從來ハ如何ニ取締ラシテ居ルカ、斯ウ云フ質問ガゴザイマシタ、其時、政府委員ノ答ヘニハ、是マデハ治安警察法、新聞紙法等ニ據ッテ取締ラシテ居ル、警察命令デスル、併ナガラ美景ヲ損シ風致ヲ害スルコトニ付イテハ、ドウモ警察法アタリニモ書イテナイコト故ニ、法文ニ無イコトハ取締ルコトハ出來ナイ、勿論是マデハ大概風俗ヲ害シテハイケンナイトカ、或ハ安寧秩序ヲ妨ゲテハイケンナイト云フノミデアアル、風致ヲ害シ美觀ヲ損フト云フコトハ、敢テ安寧秩序ヲ紊ル譯デモナイカラシテ、現行ノ法令ノ上ニドウモ規定ガ無イ故ニ取締ルコトガ出來ナイ譯デアアル、斯ウ云フ御答ヘデゴザイマシタ、第七ノ質問ハ此美觀、風致ト云フコトノ定義ハドウスルカ、行政長官ガ取締ルニ付イテモ、是ガ美觀デアアル、是ガ風致ヲ損ズルズスト云フコトハ銘々ノ見方ニ依ッテ違フダラウ、是ハ如何ニ政府ニ於テハ一定ラスルカ、斯ウ云フ質問ガゴザイマシタ、其時ニ政府委員ノ答ヘニハ、質問ノ如ク美觀トカ風致トカ云フコトノ定義ハナカク、決メニクイ、此法案ガ實施サレタ曉ニハ地方長官モ來月アタリニハ上京スルカラ其時分ニ當局大臣カラ能ク訓諭ヲスルコトデアアル、又ソレデ大抵一致スルデアラウ、斯ウ云フ答ヘデアリマシタ、其他隨分質問モゴザイマシタガ、先ヅ質問ノ大要ハ此七箇條グラキデゴザイマシタ、討論ニ移リマシタ所ガ、本案ハ政府ニ於テモ十分ニ廣告ノ取締ヲスル、サウ云フ方針ニナツテ來レバ實ニ時宜ニ適當ノモノデアアル、現今ハ兎角ドウモ廣告ト云フモノニ付イテ色々失態ノアルコトモ認メルケレドモ、斯ノ如キ法案ガ實施サレテ十分ニ取締ガ付ケバ美景モ美觀モ損ゼズ、又風致モ損ゼズ、安寧秩序モ保チ風俗ヲ紊ルトモ無イヤウニナルコトハ至極適當デアアル、斯ウ云フ意味ヲ以テ賛成ヲセラレタ、採決ヲシマシ

タ所ガ全會一致ヲ以テ可決ニナッタ次第ゴザイマス、先ヅ御報告申上ゲルコトハ大要、以上ノ如クデゴザイマス、尙又御質問ガアレバ出來マスダケハ御答ヘ致シマス、又或ルコトハ、ドウカ政府ノ方ヘ御尋ネテ願ヒタウ存ジマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○田中芳男君 委員長ニテヨット御尋ネガ致シタウゴザイマス、唯今委シク御辯明クダサイマシテ、本員モ能ク分リマシテゴザイマスガ、此中ニ有ルカ無イカ、チヨット分リマセヌカラ御尋ネテ致シマスガ、廣告物ト云フモノハ大方品物ト云フコトデアッテ決シテ人間デハナイダラウト思ヒマスガ、大道ヲ車ヲ曳カシテ押歩イタリスル人間ノ廣告物モ此中ニ這入ッテ居リマスカ伺ヒマス

○伯爵德川達孝君 田中君ニ御答ヘテ致シマス、田中君ノ仰セノ如クニ廣告物ト云フモノハ廣告ニ關スル有體物件ト云フコトデゴザイマシテ、今ノ往來ヲ色々ナ物ヲ提ゲテ歩ク所ノ廣告ノコトニ付イテモ實ハ質問ガゴザイマシタ、ソレハ委員長ガツイ落シマシタ、例ヘテ見レバ四月櫻花爛熳ナル所ノ墨堤ナドヲ隨分大勢人が集マル故ニ、其所ヲ異様ノ風俗ヲシテ、サウシテ廣告ヲスル者モアル、ソレナドモドウカト云フ問ヒガゴザイマシタ時ニ、ソレモ矢張り人ハ廣告デハナイケレドモ變ッタ形ヲシテ居レバ即チソレガ廣告ノ物件デアルト云フヤウナ答ヘモアッタヤウニ存ジテ居リマス、ソレ以上ノコトハ、ドウゾ又深い所ハ政府委員ニ御尋ネノ方ガ尙ホ明瞭ニ御分リニナラウト存ジマス

○田中芳男君 然ラバ政府委員ニテヨット御尋ネ致シマスルガ、唯今委員長カラ委シク御辯明デ分リマシタ、外ニ生キタ人間ガ廣告ニナッテ歩キマスコトハ、此第三條ニ同ジク這入リマスマヤ否ヤト云フコトヲ承リタイ

〔政府委員有松英義君演壇ニ登ル〕

○政府委員(有松英義君) 生キタ人間ニ付キマシテハ別ニ取締ヲ致ス積リデゴザイマス、本法案ヲ直チニ適用ハ出來ナイ考ヘデゴザイマス、尤モ例ヘバ手ニ致シテ居リマスル旗ノ如キハ本法ヲ適用シ得ルコトデアラウト考ヘマス  
○伯爵德川達孝君 別ニ御反對等ノ御意見モゴザイマセヌケレバ、簡單ニシテ明瞭ナル本案ノコトデゴザイマスルカラ讀會ヲ省略サレテ直チニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵大木遠吉君 讀會省略ニ賛成

○田中芳男君 賛成

○子爵松平康民君 賛成

○男爵關義臣君 賛成

○伯爵松平頼壽君 賛成

○子爵曾我祐準君 賛成

○小野田元熙君 賛成

○三宅秀君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○子爵本莊宗義君 賛成

○男爵野田豁通君 賛成

○淺田德則君 賛成

○男爵石黒忠恵君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 德川伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案、特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十二、東京市及大阪市ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

東京市及大阪市ニ關スル法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月二十日

右特別委員長

男爵 波多野 敬直

貴族院議長公爵德川家達君

〔伯爵萬里小路通房君演壇ニ登ル〕

○伯爵萬里小路通房君 本案ニ付キマシテハ委員長ガ報告イタス筈デアリマスガ、兩院協議會ニ出席シテ居ラレマスカラ、私カラ不十分デアリマスケレドモ御報告イタシマス、尙ホ此委員會ノ度數等ハ今朝多分、委員長ガ報告サレタラウト思ヒマスシ、サウ云フコトハ拔キマシテ、本案ニ付イテノ模様竝ニ結果ヲ御報告イタスコトニ致シマス、東京市及大阪市ニ關スル法律案ハ、委員全會一致ヲ以テ否決イタシマシタ、其理由ヲ少シ申上ゲマスガ、其否決イタシマシタ點ニ於キマシテハ二ツノ意味ヲ以チマシテ否決イタシマシタ、此法案ハ特別ノ市制ノ如キ法案デゴザイマシテ、即チ自治ノ事務ニ限ッテ之ヲ内務大臣ノ直接監督ノ下ニ置クト云フ趣意ガ一番ノ趣意デアリマス、付イテハ第一ニ今日ノ行政ノ組織ニ於キマシテハ各地方ニ於テモ府縣ニ分ケテ、府縣知事ハ其府縣ノ區域内ニ於テ一切ノ行政事務ヲ統轄シテ居リマスノデ、自治團體ニ對スル所ノ監督權ニ於キマシテモ最モ重大ナル關係ヲ有ッテ居リマスノデ、然ルニ此東京府、大阪府ノ如キ最モ大ナル市ニ於キマシテハ自治事務ト國政事務ニ於キマシテモ最モ大ナル關係ヲ有ッテ居ルコトデアリマスガ、此法案ノ姿ニナリマス即チ府知事ハ國政ダケニナリマシテ、自治ノコトニ至ッテハ、マルデ其權ヲ殺ガレタヤウナ次第ニ相成ル次第デアリマス、スレバ即チ行政ノ上ニ於キマシテモ其監督權ヲ持ッテ居リマスコトニ至リマシテハ甚ダ不十分ナルコト不都合ノコトバカリアリマセウツ云フ考ヘデアリマス、是等ノ特別市制ノ效力ト云フモノモ十分行ハレマセズ、甚ダ不都合ナ場合ガ少カラスト思フ、又既ニ東京市ニ於キマシテハ工事等モゴザイマスシ、最モ其取締等モ大事ナコトデアリマス、總テ此府知事ノ權トシテ、全ク内務大臣ニ一ツハ直轄サレテ居リ、一ツハサウ云フコトニ至ラスト云フ譯ニナリマスト大ニ事務上不都合ナコトガ少カラスコトデアラウト考ヘマス、ソレ等ノ意味ヲ以チマシテ此案ニ於テハ同意ガ出來ナイト云フ……ソレカラモウ一ツ既ニ今日改正ニナリマシタ市制、町村制ハ之ヲ以テ即チ其改正ノ結果、十分ニ改良ヲシ十分ニ發達ヲ致ス積リデ今日改正ニナリマシタ次第デゴザイマスルカラ、即チ今日ノ改正案ヲ持ッテ行ケバ總テノ事ハ十分ニ改良ニナラウト云フ政府ノ考ヘデモゴザイマスシ、又委員ニ於キマシテモ、之ヲ持ッテ行ケバ……折角改正シタ案ガ通過シマシタ以上ハ、即チ其發布ヲ待ツテ改良ノ目的ヲ貫徹セシムルコトガ必要デアラウカラ、今日別ニ此法案ヲ以テ却ッテ今日ノ改正案ヲ害スルヤウナコトガアリマシテモ宜シカラスコト、考ヘマス

カラ、旁、以テ此法案ハ二ツノ意味ヲ以テ否決シマシタ次第デゴザイマスカラ此段御報告イタシマス、尙ホドウツ之ニ付イテ御質問等ガゴザイマスルナラバ政府委員ニ對シテ御質問ヲ願ヒマス、委員會ニ於キマシテモ格別ノ質問ハゴザイマセナシ、此事ヲ一應申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 別段御發言ガ無イト認メマスカラ、本案ニ付イテ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵徳川家達君) 起立者ナシト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十三、産業獎勵ニ關スル建議案、前田正名君發議、會議

産業獎勵ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治四十四年三月十八日

發議者 前田 正名  
贊成者 侯爵花山院 親家  
外百二十七名

貴族院議長公爵徳川家達殿

産業獎勵ニ關スル建議

戰後ノ經營ヲ全クシ財政ノ基礎ヲ益々強固ナラシメムトスルニハ特ニ産業上ノ施設ヲ完全ニシ以テ國富ノ増進ヲ努ムルニ在リ政府ハ宜シク適當ナル方法ヲ設ケ廣ク知識經驗アル者ニ諮リ産業獎勵上遺漏ナキヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

理由書

理由ハ本文ニ明ナルヲ以テ之ヲ略ス

〔前田正名君演壇ニ登ル〕

○前田正名君 産業獎勵ニ關スル建議案ニ付キマシテハ多數ノ御賛成ヲ得マシテ、之ニ報ユルニ十分明カニ説明スルコトニ付イテハ深ク心配シテ居ル次第デアリマス、歴史カラ申シマスルト大變長イ話デゴザイマスルカラ、今日ハ極ク簡單ニ僅ノ時間ヲ以テ大略盡ス方法ヲ考ヘマシタ、暫ク御清聴ヲ煩ハ

シタイ、此建議案ニ先ダチマシテ一言申上ゲテ置キマスルノハ、諸君ノ同情ヲ一層深ク産業上ニ付イテ御心配ヲ煩ハシタイ必要ヲ感ズル次第、不肖ハ殆ド五十年前、朋友ノ間、十ノ七八ハ皆軍事ニ一身ヲ向ケマシタ、十ノ二三ハ學者、政治、醫學、……僅ニ不肖一人デゴザイマシタガ、皆朋友等ノ向フ所ノ方針ハ幸ニシテ十分ノ目的ヲ達シ、又國家ニモ十分ノ結果ヲ得テ居リマス、唯一ツ實業ニ當ル方面ハ誠ニ振ハナイ次第デアリマスルガ、是ハ不肖ノ力ノ及バナイ、又他ニ關點ノアル所以ヲ以テ自ら罪人ト考ヘテ居ル、併ナガラ此罪人、負ケタクゴザイマセヌカラ、益、方針ヲ確メ定メテ盡力シナクチャナラヌ次第デアリマス、此事ニ付キマシテハ到底一人ノ力及フ所デゴザイマセヌカラ、此議會ノ力ト政府ノ力ヲ以テ此目的ヲ達スルヨリ外ナイノデアリマス、是等ニ付キマシテ第一ニ産業獎勵ニ付イテノ外立入ラヌヤウニ今日ハ慎ンデ御話ヲシタイ積リデアリマス、チヨット茲ニ話ヲ略スル爲ニ申上ゲマスノハ、朝野ニ在ッテ殆ド四十有餘年間デゴザイマスルガ、其間二十二年間ハ政府ニ在ッテ此産業上ノ調査ニ從事ハシマシタケレドモ、是ハ即チ全ク政府ノ力デアアル、其政府デシタ仕事ニ付キマシテハ、是等ガ明治元年ヨリ十年マデ十年間、日本ト外國トノ貿易上ニ付イテ調査シタモノデアリマス、身コンソレニ從事シテ居リマシタケレドモ全ク政府ノ調べト云ッテ宜シウゴザイマス、明治十年ヨリ二十三年マデト云フモノハ、此農工商業ノ、即チ日本内地ニ於キマシテ、農業ニセヨ、工業ニセヨ、商業ニセヨ、山林水産等、其他畜産業等、是レ悉ク政府ガ之ヲ調査攻究セラレタモノデアッテ、唯其仕事ニ從事シタルノミデゴザイマス、故ニ是等ノ書類ハ地方廳ニモ又本省……農商務省ニモアリマス、又草案ハ私ノ宅ニモ存シテ居リマスカラ、ドウゾ、此歴史ヲ是非御覽クダサツテ、今後ノ産業上ノ御獎勵ニ付イテハ、非常ナル覺悟、非常ナル御盡力ヲ得ナケレバ甚ダ言フニ忍ビザル結果ニ立チ至ルト云フコトハ、事物其モノ、示ス所ト思召サル、ヤウニ願ヒタイ、若シ之ヲ前田正名ノ意見ト致シマシタナラバ御耳ニ達スルモ甚ダ恐入ッタコトデゴザイマスルガ、此四十四年間ノ調査攻究ハ悉ク事々物々其モノ、申ス所ヲ書キ調べタモノデアッテ決シテ我々ノ意見ヲ書キ列ベタモノデゴザイマセヌカラ、ドウゾ之ヲ御一覽ヲ願ヒタイト希望スル次第デアリマス、是ガ話ヲ縮メル爲ニ茲ニ御覽ニ入レル次第デアリマスカラ、地方廳、或ハ農商務省、或ハ不肖ノ宅ニ御出デクダサレテ尙ホ話ヲ御聞キクダサルヤウニ願ヒタイ、萬ガ一御説明ヲ明カニセズ、又私

ノ話シ方ガ甚ダ不都合デゴザイマスルカラ、若シ之ヲ諸君ガ誤解セラレマシタトキニハ、私ハ尙ホ其上ニ罪人デゴザイマスカラ、其邊ハ四十有餘年間ノ實行即チ是レ言葉ト思召サレテ御聽取リアラムコトヲ望ミマス、是ヨリ一ツトシテ餘リ他ニ立入ラナイヤウニ自ら戒メテ此時間ヲ儉約シタウゴザイマス、一、視察デゴザイマス、四十四年間ノ視察デゴザイマス、三度ハ政府ヨリ、二度ハ萬已ムラ得ズ自信ヲ確ムル爲ニ、歐洲ニ遊ンダ次第デアリマス、先日歸朝シマシタ、此視察ノ目的ハ誠ニ仕合ハセナ旅ヲシマシタ、八箇月間デゴザイマシタケレドモ、數年間、政府ノ御蔭ヲ以テ彼ノ地ニ知人アリ、又旅モ十分シテ居ルカラ非常ナ便宜ヲ得タ爲ニ、八箇月ノ旅行ハ或ハ始メテ行ク人ニ比シマシタラ數倍ノ利益ヲ得タラウト考ヘマス、此視察ハ彼レヲ見ルデナク、四十有餘年間、政府ニ或ハ野ニ在ッテ不肖ナガラ、結果コンゴザイマス、又自分ニ満足スルコトモ實ニゴザイマセヌガ、失敗ニ失敗、始終失敗ハ自分ノ不足ヨリ生ズル所デアッテ、其失敗經驗ヲ以テ對照シタノデゴザイマス、御蔭ヲ以テ經驗ニ富ンデ居ル、彼ノ國々ノ人ハ親シク懇切ニ教ヘテ呉レマシテ、大ニ四十有餘年間ノ仕事ヲ確メタ次第デゴザイマス、故ニ取りモ直サズ彼レヲ見ルノデナク己レヲ見ニ行ッタ次第デゴザイマシテ、又身自ラモ蓄音機トナリ、寫眞器トナリ、決シテ自分ノ意見ヲ吐カヌヤウニ慎ンデ居ル次第デゴザイマスカラ、左様御承知ヲ願ハナクテハナリマセヌ、其視察ハ右申上ゲル如ク農工商業ノ事ニ付イテ四十有餘年間、調査攻究シタコトノ引合ハセニ行ッタノデアリマス、次ニハ町村郡是ト云フコトニ先年來、始終從事シテ居リマス、是ハ一村ノ自治デゴザイマス、國家ノ即チ本デゴザイマス、國家ノ即チ富源デゴザイマス、サテ茲ニ一言申上ゲマスルガ、此全國ノ町村ヲ親シク脈ヲ取り容態ヲ調べテ見マスルト、實ニ先キ、心配ナ結果デゴザイマス、其村ノ其町ノ其郡ノ力ハドノ位ニアルカト云フト、斯ク、デアアル、之ニ副フ所ノ負擔、又遺利餘地ハ何レニアルカト云フト、實ニ悲シイ結果デゴザイマス、故ニ人ノ意見ヲ見マスルト如何ヤウトモ説ハ吐キマスケレドモ、我々ノ如ク事物其モノト相談ヲスル所ヨリ之ヲ見マスルト實ニ心配ニ堪ヘナイ次第デゴザイマスルガ、仕方ガナイカト云フト決シテサウデナイ、唯ヤリ方仕方ノ方法ヲ誤ッテ居ル爲ニ言フベカラザル容態ニ立チ至ルト云フコトハ事物其モノ、示ス所デゴザイマスルガ、今後此國家ヲシテ十分ノ發達ヲ圖ッテ國力ノ増進ヲ圖ルト云フコトハ事物ガ確ニ認メテ居リマス、示シテ居リマスルカ

ラ決シテ歎クコトハゴザイマセヌ、一ツ農工商……サテ農業カラ見マスルト先ヅ世界ニゴザイマスマイ、我が田地ヲ見マスルト、此田地ヲ以テ彼ノ地ニ對照シテ見マスルト、我が日本ノ如ク此地ノ始末ノ届イテ居ル立派ナ綺麗ナ且ツ收穫モ相當ニアルト云フ國ハゴザイマセヌケレドモ、目的トスル所ノ其利益ニ至リマシテハ數等下デゴザイマセヌ、即チ勞シテ其利ヲ得ルコト誠ニ少イ爲ニ非常ナ困難ヲスルノデゴザイマセヌ、此農業ノ結果、此度ハ殊サラ感シマシタガ、商工ノ發達スル所ニ限ッテ農業ノ利益ガ非常ニ進ンデ居リマス、是等ノコトハ長ク時間ヲ費ヤス爲ニ略シマスマスガ、實ニ工業ニ付イテハ農業ト違ヒマシテ申上ゲルノモ……申上ゲルヲナイ、工業ノ取次人トナッテ申上ゲルトキニハ、甚ダ悲シイ次第デアリマス、言葉ノ使ヒ方ハ甚ダ弊モゴザイマセヌルガ、之ヲ我が兵トシテ申上ゲルト、即チ日本帝國ノ精兵ハ何デアルカト云フト、織物、陶磁器、漆器、紙、金屬器、其他雜貨、數物等、是ガ即チ工業ノ最モ重ナルモノデアリマス、サテ四十四年前即チ明治元年ニ歐羅巴ニ行キマシタトキニハ、織物ヲ見セテモ驚ク、或ハ陶磁器ヲ見セルト實ニ珍重スル、字引ニサヘモ之ヲ名付ケテ「ジャパン」日本ト名ケタ位ノ陶磁器デアリマス、金屬器ノ如キハ封建ノ時代武器ヲ造ル爲ニ世界ニ無イ即チ此金屬器ハ美術ヲ有ッテ居リマス、或ハ漆器ノ如キ之ヲ名ケテ日本ト云ハレタ程ノモノデアリマス、紙ノ如キハ世界無比ノモノデアアル、此五種ト雜貨、數千ノ雜貨、或ハ數物吳塵、段通、等ノ如キ、即チ五二會ト云フモノヲ組織シテアルノデゴザイマセヌ、此七種ホド即チ國家經營ノ第一ノ兵隊デアッテ、是コソ即チ國家ノ富源ヲ増進スルモノデアアルノデゴザイマセヌ、今日ニ至リマスルト此織物ハ化ケ物ト名ケテ居ルノデアリマス、十反モ之ヲ同一ニ揃ヘテ販賣ハ出來マセヌ、陶磁器ノ如キハ、マルデ片輪デゴザイマセヌ、漆器ノ如キハ皆無出來マセヌ、悉ク獨逸製ニ變ジテ來マシタ、紙ノ如キハ數等負ケテ來マシタ、日本ノ塵紙サヘ追ッ付ケヤッテ來マセウ、金屬器ノ如キ、皆先ヅ討死ト云ッテ宜シウゴザイマセヌ、彼レノ此五種七種ノ進ム方法ニ至リマシテハ、明治元年ト明治四十四年、四十三年ヲ比較シマスルト段々驚ク外アリマセヌ、上申下トモ各國多少知人ガ殘ッテ居リマスルカラ、ソレニ行キマスルト至ル所皆組織ハ日本ノ此工藝ノ美術ノ方ニ一變シテ居ル次第デアリマス、サウデゴザイマセウ、日本ノ封建ノ其際、織物ト云ヒ、或ハ陶磁器ト云ヒ、漆器ト云ヒ、金屬器ト云ヒ、紙類ノ如キ、一モ二モナク或ハ天保錢一枚カ或ハ近來ニ至ッテ十錢カ二十錢カト云フ鑄、

縁頭、或ハ小刀類ヲ持ッテ行ッテ是ガドシナコトニナッテ居ルカト云フト、金錢ハ措イテ悉ク其美術工藝品ハ非常ナル力ヲ以テ之ニ皆美術工藝ヲ變ジテ來タノデアリマス、彼等ノ買ッタモノガ數百枚……其思想ヲ養ッタノニ至ッテハ限リナキ金ト云ハナケレバナラス、其鑄ハ今日ニアッテハ一枚ガ十錢シタモノガ百圓、二百圓、三百圓……先キゴロバ里ニ於テ千五百「フラン」ト云フ鑄ガゴザイマセヌ、即チ七百圓クラキモノデ、我が日本ハソレダケ祖先、ソレダケ封建ノ時分、君公等ガ獎勵ヲシ保護シタ爲ニ非常ナル工藝美術ノ其結果ヲ得タ、其品ヲ廉ク賣ッテ仕舞ッテ我が工藝工業者ノ得ル所ノ利益ト云フモノハ何デアアルカト云フト、粗製濫造、悉ク失敗ニ歸シテ居ル次第デアアル、何ヲ以テ此國力ヲ増進スルカ、決シテ優柔ノ仕方ダケデアッテ此國力ノ増進ト云フコトハ、決シテ出來ナイ次第デアリマス、根本的ヨリ之ヲ治療セヌ以上ハ到底此國力ヲ増進シテ、世界ニ對立スルト云フコトハ萬々出來ナイト云フコトハ、事物ノ確ニ示ス所デゴザイマセヌ、今ドウデゴザイマセウ、日本ノ此工業ニ付イテ兵ニ別條ナイ……若シ此兵隊ガ不十分ナル體格ヲ有ッテ居ル不十分ナル武器ヲ持ッテ居ッテ、或ハ兵隊デナイ兵卒デヤ、一騎討トシテ兵卒デ以テ、ドウシテ正々堂々タル彼等ノ精兵ノ隊ニ打勝ツコトガ出來マセウカ決シテ出來ナイ、論ヨリ證據、毎日討死ト云ッテ宜シウゴザイマセヌ、極端カモ知レマセヌケレドモ實ニ日本商賣人ノ爲ニ日本帝國ノ威嚴ヲ傷ケハシマイカト考ヘマス、傷ケテ居リマス、ナゼナラバ此ドウモ各國到ル所、日本商人ホド不確カナモノハナイ、日本商人ホド的ニナラナイモノハナイ、即チ詐欺デアアル、其證據ハ斯ク……デアルト云フコトハ澤山ナ材料ヲ持ッテ來テ居ル次第デアリマス、日本商人ホド實ニ危イモノハナイト云フノデス、是ハ何カト云フト全ク詐欺手段デアリマス、御承知デモアルカ知レマセヌガ、之ニ委シク書キ示シテアリマス、悲シイコト、明治十年ノ時、此書ヲ世ニ公ケニシテモ矢張り今日三十餘年經ッテモ其時ノ事ヲ繰返シテ申上ゲナケレバナラスト云フニ至ッテハ實ニ御察シテ願ハナケレバナラス次第デアリマス、明治十年ノトキノ事モ今日モ矢張り同ジコトヲ申上ゲナクテハナラヌ、其時ハ蠶紙ヲ以テ人ヲ欺ク、一枚ノ蠶紙ヲ賣ルコトモ出來ナクナッタ、次ニ又茶ニ他ノ葉ヲ混ゼテヤル、矢張り今日デモヤル、此工業ニ付イテハ製造品ニ付イテハ同ジコトデゴザイマセヌ、品コソ變ハレ、品ガ變ッテモ同ジコトデアリマス、甚ダ殘念ノ次第デアリマス、是レ道德ガ闕ケテ居ルノデアリマセヌカ、御

獎勵ハ唯道德養成、法律デハナイ、道德、徳川氏ノ時代ト言ヒ、歐羅巴ノ各國等モ此實業ノ事ハ法律ヨリ道德ニ依ラナケレバナラヌトナツテ居ル、昔ハ商人ガ金百兩、右拜借仕リ候事相違之ナク、萬一返濟致サル節ハ人中ニテ御笑ヒクダサルベク候ト云フノガ即チ商業ノ本意デアッタ、世界文明ノ所ハ此通りノ風ノコトヲ致シマスルカラ宜イノデアリマスルガ、今日ノ此商業ニ至リマシテハ實ニマダ飽キタラナイコトデアリマス、名古屋ニ於ケル、其他ニ於ケル君公ノ四十万ノ借財ヲ引受ケテ八百戸ノ債主ニ草鞋ガケヲシテ歩イテ日延べノラシテ其四十万ハ……今日ハ八百万ノ負債ヲ君公ノ爲ニ返シタト云フ次第デアル、是レホド日本ノ國威ニ大切ナコトハナイノデアリマスガ、是等ノコトニ見マスルト今マデ多クサウ云フ人ガゴザイマシテ、一々舉ゲマスルノハ時間モゴザイマセヌカラ略シマス、貿易、先ヅ今日ノ貿易ハ陸海軍ノ戰爭ヨリ今一層何ト申シマスルカ、急務ト云フカ、大切ト云フカ、日本國ノ經濟上カラ言フト此貿易ト云フモノホド大切ナモノハナイト心得マス、甚ダ小サナ言葉デゴザイマスルケレドモ、一家ニシテモ歳出入ノ釣合ガ付キマセヌケレバ一家困難ニナル、是モ大ナルモノトシテ即チ國家トシテ非常ナ關係ノアル次第デゴザイマスカラシテ、ドウゾ此國家ノ興廢ハ即チ此議場ニ在ルノデアル次第デゴザイマス、平素御心配ニハ無論ナツテ居リマスケレドモ、唯令斥候トナツテ歸ッテ來テ、尙ホ其敵ノ有様ヲ見テ歸ッタノデゴザイマスカラ、層一層、茲ニ御心配アラムコトヲ切ニ望ミマス、第二ニ個人トシテ出來ルコトハ身以テ當ル、又他ノ方身以テ當ラレル方ガ多ウゴザイマセウガ、如何ニセム此議會ノ協贊、此議會ノ力ヲ以テシナケレバ此産業ノ獎勵モ出來ナイ次第デゴザイマス、此保護或ハ獎勵ト云フコトヲチヨット申上ゲマスルガ、保護ニハ往々間違ヲ受ケラレテ居リマス、保護ト云フモノハ時ニ大ニ關係スル、或ハ其品ニ非常ニ關係スル、若シ其時ニ應ジナカッタトキノ保護ト云フモノハ非常ナ害ヲ爲スモノデアッテ、決シテ國家ノ保護主義トカ云フヤウナ、是ハ言葉ガアルベキ筈ハナイ、時トシテ保護ガ大變ナ害ニナル、丁度幼稚ナル、幼少ノ者ヲ養フ如キ、草木ヲ栽培スル如キモノデアラウト考ヘマス、又獎勵ト云フコトハ即チ共進會ニ於ケル如キ、博覽會ニ於ケル如キ、是皆御獎勵デゴザイマスガ、此獎勵モ其時、其品ヲ誤ッタトキニ於テハ害ヲ爲スノデアリマス、ドウデゴザイマセウカ、共進會博覽會ノ如キハ我々ガ明治初年ヨリ一同之ヲ希望シ、且計畫シタモノデゴザイマス、今日ノ此共進

會ニ於ケル如キ博覽會ニ於ケル如キ是ハ餘程注意シナケレバ害ハアルトモ或ハ保護ノ目的ヲ誤リハシマセヌカト考ヘマス、此度伊太利ニモ行キマシタ、世界ノ博覽會ヲ企テラレテ居ッタ、其規模ハ實ニ盛ンナモノデゴザイマス、此博覽會ハ詰リ陸海軍ノ大演習ニ於ケル如キモノデアッテ我ガ兵、我ガ軍艦其他……他ヲ案内スルダケノ資格ガアルカ、或ハ外國ヨリ來テ満足サセルニドレダケノ見込ガアルカ、是レ非常ナ攻究モノデアリマス、細カイ所ヲ申上ゲマスルト、宿泊スル所ハドウカ、散歩スル所ハドウカ、雨ガ降ッタトキニハ道路ハドウカ、電車ハドウカ、様々ナ關係ヲ有ッテ居ッテ、之ニ付イテハ非常ナル皆手當ラシ、攻究シナケレバナラヌ次第ト考ヘマスルガ、我ガ政府ニ於カレテハ非常ナ御心配デアラウト思ヒマスケレドモ、此實業家ニアッテハ、ナカノ之ヲ引受ケル覺悟、其働キ、一日モ悠々トシテ居ル場合デナイト考ヘマス、其他、農業ニ付イテノ移住民ノ事、或ハ實業上ノ教育ニ付イテハ多々申上ゲルコトガゴザイマスケレドモ、會期モ切迫シテ居ル爲ニ長ク此時ヲ費ヤスモ恐入りマスカラ、已ムヲ得ズ是ダケヲ御覽ニ入レテ置キマス、ドウゾ今後親シク御高説モ聽キ、又此取次ギ話ヲ御聽キクダサラムコトヲ望ム次第デアリマス、今日ハ遺憾ナガラ是デ此産業上ニ御獎勵ノコト、十分ノ要領モ言ヒ盡シマセヌケレドモ、先刻申上ゲル如ク、四十有餘年來ノ抱負モ一向立チマセヌケレドモ、此實踐躬行、以テ此産業獎勵上ノ言葉ト御看做シクダサラムコトヲ御願ヒスル次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言モ無イト認メマスカラ、本建議案ニ付イテ採決イタシマス、本建議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 大多數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際再ビ休憩ノ必要ヲ生ジマシタ、ソレハ唯今衆議院ト協議會ヲ開イテ居リマスカラ、其決了ヲ待チマシテ、再ビ本議場ニ諸君ノ御集リヲ願ハウト存ジテ居リマス

午後三時十三分休憩

午後七時四十七分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔東久世書記官朗讀〕

本日兩院協議委員議長ヨリ左ノ兩院協議會成案成立報告書ヲ提出セリ

商法中改正法律案兩院協議會成案成立報告書

非訟事件手續法中改正法律案兩院協議會成案成立報告書  
行政裁判法中改正法律案兩院協議會成案成立報告書

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマス、此際議事日程ヲ變更イ  
タシマシテ、商法中改正法律案竝ニ非訟事件手續法中改正法律案、兩院協議  
會成案會議ヲ開キマシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

商法中改正法律案

右別冊ノ通兩院協議會成案成立セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月二十一日

商法中改正法律案兩院協議委員議長

男爵 波多野 敬直

貴族院議長公爵徳川家達殿

商法中改正法律案兩院協議會成案

第二百六十一條中「第二百二十六條第二項及第二百三十八條第二項ノ規定  
ニ反シ株式申込證ヲ作ラス」ヲ「第二百二十六條第二項、第二百三十八條第二項、第  
二百三十九條ノ三第一項及第二百三十八條第二項ノ規定ニ反シ株式申込證  
又ハ社債申込證ヲ作ラス」ニ、「第二百二十七條第二項」ヲ「第二百二十七條第三  
項」ニ改メ「營業報告書」ノ下ニ「事務報告書」ヲ加フ

第二百六十一條 發起人、取締役、株式合資會社ノ業務ヲ執行スル社員、

監査役、検査役又ハ株式會社若クハ株式合資會社ノ支配人ハ左ノ場合ニ  
於テハ一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 會社ノ設立若クハ資本ノ増加又ハ其登記ヲ爲シ若クハ之ヲ爲サシム  
ル目的ヲ以テ株式總數ノ引受又ハ資本ニ對スル拂込額ニ付キ裁判所  
又ハ總會ヲ欺罔シタルトキ

二 何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス會社ノ計算ニ於テ不正ニ其株式ヲ取  
得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受ケタルトキ

三 法令又ハ定款ノ規定ニ違反シテ利益又ハ利息ノ配當ヲ爲シタルトキ

四 會社ノ營業ノ範圍外ニ於テ投機取引ノ爲メニ會社財産ヲ處分シタル  
トキ

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セス

第二百六十二條中「社債ヲ募集シタルトキ」ヲ「社債ヲ募集シ又ハ第二百五  
條第一項ノ規定ニ違反シテ債券ヲ發行シタルトキ」ニ改ム

第二百六十二條 發起人、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社

ノ代表者、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以上千圓以下ノ過  
料ニ處ス但其行爲ニ付キ刑ヲ科スヘキトキハ此限ニ在ラス

一 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

二 第七十八條乃至第八十條ノ規定ニ違反シテ合併會社財産ノ處分、資  
本ノ減少又ハ組織ノ變更ヲ爲シタルトキ

三 検査役ノ調査ヲ妨ケタルトキ

四 第五百十一條第二項ノ規定ニ違反シテ株式ヲ消却シタルトキ

五 第五百十五條第一項ノ規定ニ違反シテ株券ヲ無記名式ト爲シタルト  
キ

六 第七十四條第二項又ハ民法第八十一條ノ規定ニ違反シ破産宣告ノ  
請求ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

七 第九十四條ノ規定ニ違反シ準備金ヲ積立テサルトキ

八 第二百條ノ規定ニ違反シテ社債ヲ募集シ又ハ第二百五條第一項ノ規  
定ニ違反シテ債券ヲ發行シタルトキ

九 第二百六十條ノ規定ニ依ル裁判所ノ命令ニ違反シタルトキ

十 會社力裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタル場合ニ於テ清算人ニ事務ノ  
引渡ヲ爲ササルトキ

十一 清算ノ了了ヲ遅延セシムル目的ヲ以テ民法第七十九條ノ期間ヲ不  
當ニ定メタルトキ

十二 民法第七十九條ノ期間内ニ或債權者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ第九十五條  
ノ規定ニ違反シテ會社財産ヲ分配シタルトキ

第二百六十二條ノ二 發起人、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國  
會社ノ代表者、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五百圓以上  
下ノ過料ニ處ス但其行爲ニ付キ刑ヲ科スヘキトキハ此限ニ在ラス

一 本編ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

- 二 本編ニ定メタル公告若クハ通知ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告若クハ通知ヲ爲シタルトキ
- 三 本編ノ規定ニ依リ閱覽ヲ許スヘキ書類ヲ正當ノ理由ナクシテ閱覽セシメサリシトキ
- 四 本編ノ規定ニ依ル検査又ハ調査ヲ妨ケタルトキ
- 五 第四十六條ノ規定ニ違反シテ開業ノ準備ニ著手シタルトキ
- 六 第二百二十六條第二項、第二百三條第二項、第二百十二條ノ三第一項及ヒ第二百三十八條第二項ノ規定ニ違反シ株式申込證又ハ社債申込證ヲ作ラス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
- 七 第四百七十七條第一項又ハ第二百七十七條第三項ノ規定ニ違反シテ株券ヲ發行シタルトキ
- 八 株券又ハ債券ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
- 九 定款、株主名簿、社債原簿、總會ノ決議録、財産目錄、貸借對照表、營業報告書、事務報告書、損益計算書及ヒ準備金竝ニ利益又ハ利息ノ配當ニ關スル議案ヲ本店若クハ支店ニ備ヘ置カス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ之ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
- 十 第七百七十四條第一項又ハ第九十八條第二項ノ規定ニ違反シ株主總會ヲ召集セサルトキ
- 第二百六十二條ノ三、第四十四條ノ三第二項ノ規定ニ依リテ選任セラレタル者ハ本章ノ適用ニ付テハ之ヲ發起人ト看做ス
- 第二百六十七號ノ三、質入證券ニ第一ノ質入裏書ヲ爲スニ當タリ裏書人カ他人ヲ以テ支拂擔當者トシテ預證券及ヒ質入證券ニ記載セサリシトキハ倉庫營業者ヲ支拂擔當者ト看做ス
- 第三百六十七條ノ三、質入證券所持人ノ債權ノ辨濟ハ倉庫營業者ノ營業所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス
- 第四百五十二條ノ二、支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ハ之ヲ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス
- 第五百二十六條ノ二、振出地ハ之ヲ振出人ノ營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第五百三十七條、第四百四十六條、第四百四十七條、第四百四十九條ノ二、第四百五十二條、第四百五十二條ノ二、第四百五十五條、第四百五十七條、第四百五十九條乃至第四百六十四條、第四百八十三條、第四百八十四條、第四百八十六條乃至第四百八十九條ノ二、第四百九十一條、第四百九十二條、第四百九十五條、第五百十四條乃至五百十五條ノ二、第五百十五條ノ五及第五百十七條ノ規定ハ小切手ニ之ヲ準用ス

附則  
第十九條 第二百二十條ノ二乃至第二百二十條ノ五ノ規定ハ券面額五十圓未滿ノ株式ヲ併合スル場合ニ之ヲ準用ス  
第二十六條 本法施行前ニ會社ニ關スル從前ノ罰則ヲ適用スヘキ行爲アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ其罰則ヲ適用ス  
其ノ他ハ衆議院議決案ノ通トス

非訟事件手續法中改正法律案  
右別冊ノ通兩院協議會成案成立セリ依テ及報告候也  
明治四十四年三月二十一日  
非訟事件手續法中改正法律案兩院協議委員議長  
男爵 波多野 敬直

貴族院議長公爵德川家達殿  
非訟事件手續法中改正法律案兩院協議會成案  
第二百六條中「第五百三十六條」及ヒ「第九十五條第三項」ヲ削リ  
第二百六條中「第二百六十一條」及ヒ「第九十五條第三項」ヲ削リ「第二百六十二條」ノ下ニ「第二百六十二條ノ二」ヲ加フ  
其ノ他ハ衆議院議決案ノ通トス

〔男爵波多野敬直君演壇ニ登ル〕  
○男爵波多野敬直君 商法中改正法律案、非訟事件中改正法律案、兩院協議會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道イタシマス、兩院協議會ハ一應集會ノ上、更ニ小委員ヲ拵ヘマシテ長ク協議ヲ致シマシタ、漸ク茲ニ成案ガ成立ツタ次第デゴザイマス、此衆議院ノ改正ノ中ニ重モナルモノハ罰則ノ所デ、ソレト財産目錄ノ調製ノコトデアリマス、此兩點ニ付イテナカク、雙方意見ノ合致スルコトハムツカシカッタノデゴザイマス、漸ク茲ニ一ツノ成案ヲ得マシタ、ソ

レデ先ヅ此重モナ點即チ其罰則ノ方カラ御報告イタシマスル、政府原案ノ二百六十一條ノ第一デゴザイマス、アレガ範圍ガ廣クテ如何ナルコトニ付イテ裁判所ニ引張ラレルカ分ラヌノデスカラ、是ガ餘リ漠然トシテ廣過ギルト云フコトガ第一ノ議論デゴザイマス、ソレデ茲ニ其案ノ中ニ籠ッテ居リマスル事柄ヲ列記ヲイタシテ讀上ゲマス、マダ御手許ニ案ガ回ッテ居ラナイノデアリマス

一 會社ノ設立若クハ資本ノ増加又ハ其登記ヲ爲シ若クハ之ヲ爲サシムル目的ヲ以テ株式總數ノ引受又ハ資本ニ對スル拂込額ニ付キ裁判所又ハ總會ヲ欺罔シタルトキ

二 何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス會社ノ計算ニ於テ不正ニ其株式ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受ケタルトキ

三 法令又ハ定款ノ規定ニ違反シテ利益又ハ利息ノ配當ヲ爲シタルトキ

四 會社ノ營業ノ範圍外ニ於テ投機取引ノ爲メニ會社財産ヲ處分シタルトキ

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セス  
此四項ニ付キマシテハ

發起人、取締役、株式合資會社ノ業務ヲ執行スル社員、監査役、検査役又ハ株式會社若クハ株式合資會社ノ支配人ハ左ノ場合ニ於テハ一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

ト云フ規定デゴザイマス、第二百六十二條デ是ハ

發起人、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス但其行爲ニ付キ刑ヲ科スヘキトキハ此限ニ在ラス

是ガ第一項ヨリ第十二項マデバアリマス、其第一項カラ申シマスレバ

一 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

二 第七十八條乃至第八十條ノ規定ニ違反シテ合併會社財産ノ處分、資本ノ減少又ハ組織ノ變更ヲ爲シタルトキ

三 検査役ノ調査ヲ妨ケタルトキ

四 第五百一十一條第二項ノ規定ニ違反シテ株式ヲ消却シタルトキ

五 第五百五十五條第一項ノ規定ニ違反シテ株券ヲ無記名式ト爲シタルトキ

六 第七十四條第二項又ハ民法第八十一條ノ規定ニ違反シ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

七 第九十四條ノ規定ニ違反シ準備金ヲ積立テサルトキ

八 第二百條ノ規定ニ違反シテ社債ヲ募集シ又ハ第二百五條第一項ノ規定ニ違反シテ債券ヲ發行シタルトキ

九 第二百六十條ノ規定ニ依ル裁判所ノ命令ニ違反シタルトキ

十 會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタル場合ニ於テ清算人ニ事務ノ引渡ヲ爲サ、ルトキ

十一 清算ノ了了ヲ遅延セシムル目的ヲ以テ民法第七十九條ノ期間ヲ不當ニ定メタルトキ

十二 民法第七十九條ノ期間内ニ或債權者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ第九十五條ノ規定ニ違反シテ會社財産ヲ分配シタルトキ

此十二項ノ中ニ第十項ト第十一項ガ新ニ加ッタ廉デゴザイマシテ、他ノ十條ハ總テ政府原案ノ通りデゴザイマス、又二百六十二條ノ二ト云フノハ

發起人、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス但其行爲ニ付キ刑ヲ科スヘキトキハ此限ニ在ラス

一 本編ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

二 本編ニ定メタル公告若クハ通知ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告若クハ通知ヲ爲シタルトキ

三 本編ノ規定ニ依リ閱覽ヲ許スヘキ書類ヲ正當ノ理由ナクシテ閱覽セシメサリシトキ

四 本編ノ規定ニ依ル検査又ハ調査ヲ妨ケタルトキ

五 第四十六條ノ規定ニ違反シテ開業ノ準備ニ著手シタルトキ

六 第二百二十六條第二項、第二百三條第二項、第二百十二條ノ三第一項及ヒ第二百三十八條第二項ノ規定ニ違反シ株式申込證又ハ社債申込證ヲ作ラス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

七 第四百七十七條第一項又ハ第二百十七條第三項ノ規定ニ違反シテ株券ヲ發行シタルトキ

八 株券又ハ債券ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

ルトキ

九 定款、株主名簿、社債原簿、總會ノ決議録、財産目録、貸借對照表、

營業報告書、事務報告書、損益計算書及ヒ準備金並ニ利益又ハ利息ノ配當ニ關スル議案ヲ本店若クハ支店ニ備ヘ置カス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ之ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

十 第七十四條第一項又ハ第九十八條第二項ノ規定ニ違反シ株主總會ヲ召集セサルトキ

此第十項マデハ總テ政府原案ニアッタ通りデ、幾ラカ文字ハ變ッテ居リマスケレドモ、意味ニ於テハ少シモ變ッタコトハゴザイマセヌ

第二百六十二條ノ三 第四十四條ノ三第二項ノ規定ニ依リテ選任セラレタル者ハ本章ノ適用ニ付テハ之ヲ發起人ト看做ス

是ハ整理ノ結果斯ウナリマシタ案デゴザイマス、唯今申上ゲマスル外ニ、衆議院ノ修正ヲ原案ニ復活イタシタルモノガ

第三百六十七條ノ三 質入證券所持人ノ債權ノ辨濟ハ倉庫營業者ノ營業所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

之ヲ復活イタシマシタ、ソレカラ 第四百五十二條ノ二 支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ハ之ヲ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第五百二十六條ノ二 振出地ハ之ヲ振出人ノ營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

ソレカラ第五百三十七條中ニ「第四百五十二條ノ二」トゴザイマスノヲ、是ハ整理ノ結果、復活ヲ致シマシタ、ソレカラ附則ノ

第十九條 第二百二十條ノ二乃至第二百二十條ノ五ノ規定ハ券面額五十圓未滿ノ株式ヲ併合スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 本法施行前ニ會社ニ關スル罰則ヲ適用スヘキ行爲アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ其罰則ヲ適用ス

唯今申上ゲマシタル條ガ復活ヲ致シマシタ條デゴザイマス、ソレカラ次ニ非訟事件手續法中ノ改正法律案デゴザイマスガ、是ハ唯條數ノ整理ト云フヤウ

ナモノデ、商法ガ修正セラレマシタニ付キマシテ此條數モ整理イタシタモノガ少シゴザイマス、是ハ別段申上ゲマセヌ、是ハ唯今議決イタシマシタル位

ナコトデ、マダ御手許ニ案モ回リマセヌガ、此條ノ整理等ニ付イテハ可決セラレマシタ上ハ委員長ニ御任カセテ願ヒタイト考ヘマス、此段報告ヲ致シマス

○村田保君 此協議案ニ於キマシテハ、本員等ハ十分ナル満足ハ致シマセヌガ、此際ハ遺憾ナガラ賛成ヲ致シテ此法案ノ成立ヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、協議會ノ成案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 大多數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際諸君ニ申上ゲマスガ、議事日程ノ第十五、第二十四、第三十四、第四十六、是等ノ請願ハ請願委員長ヨリ撤回ヲスルト云フコトヲ議長マデ申出デラレマシタ、左様御承知ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十四ヨリ第七十マデノ請願

[左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス]

意見書案

報效志士表彰追録ノ件

東京市牛込區市ヶ谷藥王寺前町伯爵大原重朝呈出

右ノ請願ハ天保元年ヨリ明治二十三年ニ至ル期間ニ於ケル報效盡節ノ志士ニシテ未表彰追録セラレサル者ニ對シテハ請願人私案ノ如ク速ニ相當ノ恩命ヲ被ラシメ以テ死者ノ靈ヲ慰メ且生者ノ情衷ヲ安セシメラレタシトノ趣旨ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

贈從四位森山新藏父子追録ノ件

東京市牛込區市ヶ谷藥王寺前町伯爵大原重朝呈出

右ノ請願ハ贈從四位森山新藏父子ハ夙ニ勤王ノ志ヲ懷キ累世ノ家産ヲ擧ケテ有志ノ庇護ニ竭シ躬亦國難ニ殉シタルニ拘ラス家産ハ籍沒セラレ子孫ハ

今日ニ至ルモ更ニ救復ノ恩典ニ接セス慘況實ニ憐ムヘキモノアルヲ以テ曩ニ故侯爵西郷從道等ヨリ宮内大臣ニ對シテ請願セシ趣旨ヲ酌ミ請願人私案ノ如ク該子孫ニ對シ優待ノ恩遇ヲ賜ハリタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

溜池及堤塘敷地還付ノ件

愛知縣名古屋市中區上前津町平民農木村忠兵衛呈出

右ノ請願ハ名古屋市中區上前津小林所在ノ溜池及堤塘二町三段餘歩ハ寬保年間請願人ノ祖先カ灌漑ノ爲ニ村内ニ寄附シ爾來之カ報酬トシテ年年米五升ヲ交付セラレタルニ改租ノ際該敷地ハ誤テ官有地ニ編入セラレ加フルニ今ヤ乾涸シテ不用ニ歸シタルヲ以テ曩ニ明治二十二年内務省訓令第二百三十六號ニ基キ其ノ還付ヲ出願シタルモ不當ニ却下セラレタルヲ以テ之カ還付ノ詮議ニ出テラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

府縣管轄區域變更ノ件

埼玉縣北足立郡新鄉村平民農押田專藏外千三百二十五名呈出

右ノ請願ハ埼玉縣北足立郡新鄉村ヲ東京府南足立郡ニ編入セララルルハ地勢、交通、人情、風俗、治水等ノ關係上最適當ナルノミナラス同村ノ産業ヲ進メ自治ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル所以ナルヲ以テ之ヲ北足立郡ヨリ分離シ南足立郡ニ編入セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

七尾灣築港ノ件

石川縣鹿島郡七尾町無職業中島專一外二十九名呈出

金澤商業會議所會頭齋藤彌久呈出  
右ノ請願ハ石川縣七尾港ハ日本海方面ニ於ケル良港ニシテ内外商業ノ要衝ニ當ルヲ以テ帝國北海岸ニ於ケル交易ヲ盛ニシ國家ノ福祉ヲ増進セシムル爲同港ニ完全ナル築港工事ヲ遂行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

牛疫血清製造機關擴張ノ件

東京市下谷區二長町平民畜産業和田該輔外八名呈出

右ノ請願ハ畜牛事業ノ振ハサルハ牛疫豫防方法ノ完カラサルニ因ル故ニ大規模ノ牛疫血清製造所ヲ設ケテ血清ノ供給ヲ豐ニシ同時ニ獸疫豫防法ヲ改正シテ生牛ノ輸入ヲ禁止シ以テ牛疫ノ傳播ヲ防止セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

廢川地拂下ニ關スル件

愛知縣海西郡彌富町長内藤守正外十名呈出(二通)

右ノ請願ハ木曾川ノ改修ニ因リ廢川トナルヘキ佐屋川及筏川ノ敷地ハ數百年來兩川ノ維持及修繕ノ費用ヲ負擔シ來ル沿岸諸町村ニ之ヲ拂下ケ以テ疲弊セル此等町村ノ基本財産トセシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

種牛場増設ノ件

東京市下谷區二長町平民畜産業和田該輔外八名呈出

右ノ請願ハ畜牛ノ改良ハ先ツ現時ノ雜駁ナル牛種ノ整理ニ俟タサルヘカラス而シテ之カ整理ハ各地ノ實際ニ照シテ適當ノ種牛ヲ配置スルニ如クハナシ然ルニ我國種牛場ノ數ハ僅ニ二三ニ止マリ之カ要求ニ應スルコトヲ得ザルヲ以テ全國八農區ニ各一箇所ノ種牛場ヲ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

煉乳事業獎勵ノ件

東京市下谷區二長町平民畜産業和田該輔外八名呈出

右ノ請願ハ内國煉乳製造業ノ振ハサルハ外國製煉乳ノ荐ニ輸入セララルルニ由ル而シテ政府ハ斯業ヲ獎勵スル爲山口縣ニ於ケル煉乳製造所ニ對シ若干ノ事業費ヲ下付セラレタリト聞ク而シテ千葉、静岡、東京、大阪等ノ府縣ニ於テ齊シク設備ノ整ヘル煉乳ノ製造所アリト雖悉ク資金ノ闕乏ト税法ノ不備ナルトニ窘メラレ技術ノ進歩遲遅タルカ故ニ此等ニ對シテモ亦前者ト

同一ノ保護ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

魚市場法制定ニ關スル件

東京市日本橋區室町一丁目平民魚商白澤武平外二百六十二名呈出  
右ノ請願ハ現今魚市場ニ適用スヘキ恰好ナル規定ノ存スルモノナキヲ以テ營業統一ヲ闕キ諸般ノ弊害續出シテ漁業者荷主及一般消費者ノ被ル所ノ損害尠少ナラス依テ請願人等ノ私案ノ如ク魚市場法ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

郵便局設置ノ件

埼玉縣北埼玉郡村君村平民農田口與左衛門外十九名呈出

右ノ請願ハ埼玉縣北埼玉郡村君村ハ人口多ク各種ノ産業發達シ郵便電信ノ事務頻繁ヲ加ヘタルモ此等ノ事務ハ遠隔ナル大越村郵便局ノ管轄ニ屬シ其ノ不便不利一方ナラサルヲ以テ同村役場ノ所在地ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

船川鐵道敷設ノ件

秋田縣南秋田郡金足村士族農三浦兼藏外五十名呈出

右ノ請願ハ秋田縣下船川港ニ達スル海陸連絡鐵道ノ敷設ハ最急要ノモノナルヲ以テ之カ工費ヲ明治四十五年度ノ豫算ニ計上セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

大井川改修工事國庫支辨ノ件

静岡縣志太郡島田町長馬場晴利外十三名呈出

右ノ請願ハ大井川ハ曩ニ國庫ノ補助ト縣費トニ依リ改修工事ヲ施行セラレ其ノ未竣成セサル區域ノ工事ハ國費ヲ以テセラレムコトヲ建議シタルモ容レラレス如クシテ推移セムカ既成ノ改修工事モ其ノ效ヲ失ヒ水害ノ及フ所測リ難キモノアルカ故ニ同川ヲ臨時調査會ニ於テ決定セラレタル河川中ニ加ヘ國庫ノ支辨ヲ以テ速ニ之カ改修工事ヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

家畜運輸ニ關スル件

岡山縣苦田郡產牛馬組合組長牧孝太郎外十名呈出

右ノ請願ハ家畜運輸ノ方法ヲ改善スルハ畜産ノ發達ヲ促ス所以ナルモ現時我國ニ於テ此ノ方法ノ備ハル所ナキハ當業者ノ最不利トスル所ナルヲ以テ速ニ之カ改善ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

島根縣產牛馬組合聯合會組長香川善九郎外二百一十一名呈出

我國ニ於テ此ノ方法ノ備ハル所ナキハ當業者ノ最不利トスル所ナルヲ以テ速ニ之カ改善ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

我國ニ於テ此ノ方法ノ備ハル所ナキハ當業者ノ最不利トスル所ナルヲ以テ速ニ之カ改善ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

我國ニ於テ此ノ方法ノ備ハル所ナキハ當業者ノ最不利トスル所ナルヲ以テ速ニ之カ改善ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

キモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

登記取扱ノ件

岡山縣苦田郡芳野村平民農河田繁穗呈出

右ノ請願ハ土地建物ニ付設定シタル抵當權ノ順位ハ抵當權登記ノ抹消セラレルモノアルトキハ調査ニ困難ヲ來スコトアルヲ以テ之ヲ明瞭ナラシムル爲未抹消セサル順位ヲ改メテ記載セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

北海道帝國大學設立ノ件

北海道札幌區大通西二丁目士族公吏青木定謙外百十九名呈出

右ノ請願ハ明治四十年札幌農學校ヲ東北帝國大學農科大學トセラレタルモ未同道ニ於ケル工科理科ニ關スル最高學才ノ需要ヲ充タスニ足ラサルヲ以テ同農科大學ニ理工科大學ヲ加設シテ以テ之ヲ獨立ノ帝國大學トセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

波根西郵便局集配開始ノ件

島根縣安濃郡波根西村長三谷清七外一名呈出

右ノ請願ハ島根縣安濃郡波根西村ハ杵築港ト温泉津港トノ中間ニ位シ貨物ノ集散多ク商業般盛ニシテ人家稠密ヲ加ヘ通信機關ノ設備ヲ要スルコト切ニシテ近時電信電話ノ開通ヲ見ムトスルニ至レルモ尙波根西郵便局ニ於テ郵便物ノ集配ヲセラレサルハ村民ノ遺憾トスル所ナルヲ以テ此ノ事務ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

三澤郵便局設置ノ件

島根縣仁多郡三澤村平民農白名猪太郎外二十八名呈出

右ノ請願ハ島根縣仁多郡三澤村ハ山嶽重疊ノ裡ニ在リ交通不便ニシテ三成、佐白郵便局ヲ距ルコト遠ク通信貯金等ニ關シ村民ノ不利一方ナラサルモノアルヲ以テ同村大字三澤町ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

金名鐵道敷設ノ件

福井縣大野郡勝山町長齋藤治兵衛外九名呈出

右ノ請願ハ石川縣金澤ヨリ鶴來、牛首、福井縣勝山、大野、岐阜縣白鳥、八幡、上有地及關ヲ經テ愛知縣名古屋ニ達スル金名鐵道ハ管ニ交通運輸ノ便ヲ開クノミナラス軍事上並國富ノ増進上重要ノモノナルヲ以テ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致

候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

南朝三帝賀名生皇居ノ宮址ヲ特別保護建造物ニ編入ノ件外一件ニ關スル件

奈良縣吉野郡賀名生村士族神職堀重信外一名呈出

右ノ請願ハ賀名生行宮ノ遺趾ト北畠准后ノ墳墓トヲ頽廢ノ裡ニ委スルハ世道人心ニ影響ヲ及ホスコト大ナルモノアルヲ以テ該行宮ハ之ヲ特別保護建造物ト爲シ又准后ノ墳墓ヲ修理シ且賀名生神社ニ對シテ建設費並保存金ヲ補助セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

登記所設置ノ件

長崎縣北松浦郡今福村平民豊村重郎外二十六名呈出

右ノ請願ハ平戸區裁判所志佐出張所ノ管轄區域ヨリ長崎縣北松浦郡今福村、福島村、鷹島村及調川村ヲ割キ今福村ニ同區裁判所ノ出張所ヲ設ケ以テ其ノ登記事務ヲ管轄セシムルハ以上四箇村民ノ大ニ便利トスル所ナルヲ以テ之ヲ論議ニ出テラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

大館盛岡間鐵道速成ノ件

秋田縣北秋田郡山瀬村平民公吏北林斌郎外百七十七名呈出

右ノ請願ハ奥羽本線大館驛ニ起リ縣道鹿角街道ニ沿ヒ扇田、十二所、花輪、湯瀬ヲ經嚴手縣田山、松尾、好摩ヲ過キ盛岡驛ニ達スル鐵道ハ管ニ交通運輸ノ便ヲ開クノミナラス産業ノ發達文化ノ進捗及軍事上ニ重要ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

國立工業試驗場設立ノ件

石川縣輸出織物同業組合組長中崎與四右衛門呈出

右ノ請願ハ石川縣輸出織物同業組合ハ輸出羽二重ノ製造ニ從事シ銳意ノカ發達ヲ計ルト雖各種ノ施設ト研究ノ結果トニ依ルニアラサレハ到底海外市場ニ於テ永ク之カ聲價ヲ保ツコト能ハサルニ至ルヘキヲ以テ工業試驗場ノ設立ヲ要スト雖地方資力ノ堪フル所ニアラサルヲ以テ石川縣ニ國立工業試驗場ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

安倍川改修工事速成ノ件

靜岡縣靜岡市紺屋町平民旅人宿業田中富次郎外三百九十七名呈出

右ノ請願ハ靜岡縣安倍川ハ水源地方ニ於テ數百ノ崩壞アリ今尙崩壞ヲ絶タスシテ土砂ノ流出夥シク河床昂起シテ水勢益激烈ヲ加ヘ一朝洪水ニ際シテハ堤塘決潰シ慘狀ヲ極ムト雖之カ改修ハ地方民力ノ及フ所ニアラサルヲ以テ今回政府ノ選擇セラレタル河川中ニ同川ヲ編入シ改修工事ヲ速成セラレ

タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

區裁判所出張所設置ノ件

靜岡縣磐田郡浦川村長本間芳太郎呈出

右ノ請願ハ靜岡縣磐田郡浦川村ノ登記事務ハ濱松區裁判所山香出張所ノ管轄ニ屬スルモ距離遠クシテ往復ノ爲多クノ日子ヲ徒費シ加フルニ其ノ間ニ天龍川ノ激流アリテ一朝出水ニ際シテハ渡船杜絶セラレ交通困難ニシテ登記申請人ノ不便不利一方ナラサルヲ以テ同村及佐久間村半場ヲ管轄スヘキ區裁判所出張所ヲ同村内ニ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

自家用料醬油稅則改廢ニ關スル件

靜岡縣榛原郡吉田村商中村圓一郎外十八名呈出

右ノ請願ハ現行ノ自家用料醬油稅ハ富者ニ輕ク貧者ニ重クシテ負擔ノ均衡ヲ失ハシメ營業者ヲ困憊セシメ分業ノ發達ヲ阻害シ徵稅ノ煩雜ヲ來シ脫稅密造ノ惡弊ヲ生セシムル等諸般ノ弊害アルヲ以テ之ヲ全廢セララルカ又ハ其ノ稅率ヲ一般ノ醬油稅率ト同一ニセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

木之子村郵便局設置ノ件

岡山縣後月郡木之子村平民公吏佐藤勝四郎外五十七名呈出

右ノ請願ハ岡山縣後月郡木之子村ハ一小市街ヲ成シ近時商工業ノ發達殊ニ著シキニ拘ハス郵便事務ハ遠ク井原及小田兩郵便局ノ管轄ニ屬シ村民ノ不便不利一方ナラサルヲ以テ木之子村縣主村及外數字ノ地區ヲ以テ一集配區域トスル三等郵便局ヲ木之子村字郷ニ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

郵便局設置ニ關スル件

三重縣度會郡中川村平民農森見孫市外十七名呈出

右ノ請願ハ三重縣度會郡中川村ハ郵便局ヲ距ルコト甚遠ク交通不便ニシテ預金、爲替、通信等ニ關シ不便ヲ感スルコト尠カラサルヲ以テ同村大字麻加江ニ三等郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

静岡地方裁判所沼津支部開廳ノ件

静岡縣駿東郡沼津町平民農和田傳太郎外四百五十二名呈出

右ノ請願ハ静岡地方裁判所沼津支部ハ静岡縣下駿東郡、富士郡及伊豆國一圓ヲ管轄セシモ明治三十六年閉鎖セラレタルヨリ關係地方人民ノ不便不利

一方ナラサルモノアルヲ以テ再該支部開廳ノ詮議ニ出テラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

平戸區裁判所御厨出張所設置ノ件

長崎縣北松浦郡御厨村長臨時代理有安淳夫外一名呈出

右ノ請願ハ長崎縣北松浦郡御厨村星鹿村ハ地域廣大ニシテ土地肥エ人口多ク諸般ノ取引頻繁ナルモ登記事務ハ平戸區裁判所志佐出張所ノ管轄ニ屬スルカ爲登記事務溢滞シ金融ノ圓滿ヲ闕キ不便一方ナラサルヲ以テ同村ニ該區裁判所御厨出張所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

郵便局設置ノ件

福島縣田村郡大越村平民農鹿又猪治外八名呈出

右ノ請願ハ福島縣田村郡大越村ハ交通ノ要衝ニ當リ貨物ノ集散夥シク加フルニ村内ニ産馬組合アリテ夏秋ノ二季ニ馬匹ノ市場ヲ設ケ馬商ノ來往頗多キモ未郵便局ノ設ナク公私ノ不便一方ナラサルヲ以テ速ニ同村ニ之ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

郵便局設置ノ件

福島縣西白河郡信夫村長圓谷彌太郎呈出  
右ノ請願ハ福島縣西白河郡信夫村ハ山間ニ僻在スル村落ニシテ延長數里ニ互リ且郵便局ヲ距ルコト遠クシテ鄰村大屋村ニ信書ヲ通スルニモ數日ノ日子ヲ費シ村民ノ不便甚シク爲ニ人智ノ發展阻害セラルルヲ以テ同村ノ中央ニ位シ四通八達ノ地タル大字町屋ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

金名鐵道敷設ノ件

福井縣大野郡大野町長内山鐵吉外十三名呈出  
金澤商業會議所會頭齊藤彌久呈出  
右ノ請願ハ石川縣金澤ヨリ鶴來、牛首、福井縣勝山、大野、岐阜縣白鳥、八幡、上有地及關ヲ經テ愛知縣名古屋ニ達スル金名鐵道ハ管ニ交通運輸ノ便ヲ開クノミナラス軍事上竝國富ノ増進上重要ノモノナルヲ以テ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

中仙道幹線速成ノ件

岐阜市參事會岐阜市長服部正外三十名呈出  
右ノ請願ハ岐阜市ヲ起點トシ多治見町ニ至ル中仙道幹線鐵道ノ敷設ハ管ニ交通ノ便ヲ開クノミナラス國家經濟上重要ナルヲ以テ之ヲ速成セラレタシ

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

貴族院議事速記録第二十一號

明治四十四年三月二十一日

請願會議

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

製油原料輸入關稅免除ノ件

大阪市北區安井町攝津製油株式會社取締役社長志方勢七外六名呈出  
右ノ請願ハ菜子、胡麻子、荳胡子及麻子ノ我國内ニ於ケル産額ハ僅少ナルヲ以テ其ノ市價ハ少數ノ商人ノ左右スル所トナリ漸次之カ供給闕乏ヲ告ケ製油業ノ衰頽ヲ來スニ至レルハ國家經濟上甚遺憾ナルヲ以テ此等ノ製油原料ノ關稅ヲ免除セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

郵便局設置ノ件

大阪府三島郡烏飼村平民農中谷芳太郎外四名呈出  
右ノ請願ハ大阪府三島郡烏飼、宮島、味生、三箇牧ノ諸村ハ商工業發達シ通信頻繁ナルニ拘ラス郵便局ノ設ナク通信ノ事務ハ先年烏飼郵便局ノ廢セラレタルヨリ以來高槻、富田、茨木、吹田各郵便局ノ管轄ニ屬スルモ何レモ距離遠ク人民ノ不便一方ナラサルヲ以テ烏飼村役場所在地ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

宅地賃貸價格再調査ノ件

静岡縣小笠郡西南鄉村平民商山下太郎外二名呈出  
右ノ請願ハ曩ニ掛川稅務署管内ニ於テ宅地賃貸價格ノ調査ヲ行ハルルヤ調査委員ハ黨派ノ所屬ヲ異ニシタルヲ以テ其ノ多數ヲ占ムル黨派ニ屬スル者ノ宅地ノ賃貸價格ハ之ヲ引下ケ他ノ政派ニ屬スル者ニ對シテハ之ヲ引上クル等該稅務署管内ノ全部ニ互リ不公平ノ甚シキモノアルヲ以テ總テ之カ再調査ヲ命セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

御料地下付ニ關スル件

静岡縣小笠郡南鄉村長石野延太郎呈出  
右ノ請願ハ請願人ハ御料地立木竹下付規程ニ依リ所有權ノ確證ヲ舉ケテ御料地ノ下戻ヲ申請シタルニ對シ宮内大臣ヨリ不許可ノ處分ヲ受ケタルモ之ニ對シテ行政裁判所ニ出訴スルノ途ナキハ國有土地森林原野下戻法ニ於ケル場合ニ比シテ權衡ヲ失スルノミナラス該地ヲ國有ヨリ御料ニ編入セラレタルハ政府ノ處置ニ出テタルモノナルヲ以テ齊シク行政訴訟ヲ提起スルノ途ヲ開カルルカ又ハ政府ヨリ相當ノ賠償ヲ爲サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

區裁判所出張所設置ノ件

福岡縣八女郡矢部村長宮内萬吉外一名呈出

右ノ請願ハ福岡縣八女郡大淵村及矢部村ハ郡ノ東南部ニ僻在スル交通不便ノ村落ニシテ其ノ登記事務ハ福島區裁判所黒木出張所ノ管轄ニ屬ス然ルニ同所ハ距離遠クシテ往復ノ爲多クノ日子ヲ徒費シ人民ノ不便不利一方ナラサルヲ以テ兩村ヲ管轄スル區裁判所出張所ヲ大淵村ニ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

煙草專賣法改正ノ件

香川縣香川郡安原村平民農土居留吉外百七名呈出  
右ノ請願ハ煙草專賣法中煙草葉數査定ニ關スル規定ハ收納上ノ犯則者ヲ拘束セムトシテ反テ誠實ナル一般耕作人ヲ過度ニ牽束スルノミナラス査定上ノ手續繁苛ニシテ徒ニ當業者ヲ苦シムルモノナルヲ以テ該規定ノ全部ヲ削除セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

北海道北見線鐵道速成ノ件

北海道上川郡上名寄村平民荒木太三外百六十四名呈出  
右ノ請願ハ北海道鐵道幹線豫定線名寄、野付牛間ノ完成ハ獨天鹽北見地方ニ於ケル無限ノ富力ヲ開發セシムルノミナラス國防上至要ノ關係ヲ有スルヲ以テ本年度ニ於テ此ノ兩地ヨリ同時ニ起工ニ著手シ速ニ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達  
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

寺院境内還付ニ關スル法律案制定ノ件

眞言宗高野派管長高野山金剛峯寺座主密門宥範外八名呈出

右ノ請願ハ寺院ノ境内及境外ノ土地ニシテ維新ノ際上地ヲ爲シタルモノノ現ニ官有ニ屬スル部分ハ之ヲ其ノ寺院ニ還付スルノ法案ヲ制定セラレ現下悲運ニ沈淪シツツアル寺院ヲ救済シ以テ興學布教ノ目的ヲ達セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

船川大久保間鐵道敷設ニ關スル件

秋田縣南秋田郡富津内村平民農伊藤五兵衛外千四百九十名呈出 (二十

一通)

右ノ請願ハ曩ニ商港トシテ指定セラレタル秋田縣船川港ヲ連絡スル鐵道ハ之ヲ普通鐵道ト爲シ又其ノ分岐點ヲ奥羽本線大久保驛トセラルルハ諸種ノ情勢上最適當ナルヲ以テ此ノ線路ヲ採用シ及急設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

兵庫縣圓山川同支川出石川河川改修ノ件

兵庫縣城崎郡豐岡町平民商佐川恆太郎外四千五十六名呈出

右ノ請願ハ兵庫縣圓山川ハ上流地方ニ於ケル山林濫伐ノ爲土砂崩壊シ河口埋没シ加フルニ近時鐵道ノ敷設ニ因リ流勢緩キヲ加ヘ出水毎ニ氾濫シ其ノ禍害名狀スヘカラス故ニ速ニ圓山川及其ノ支川出石川ノ改修工事ヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

府縣町村區域變更ニ關スル件

東京府北多摩郡砧村平民農河原兵右衛門外八名呈出

右ノ請願ハ東京府北多摩郡砧村宇奈根飛地ハ多摩川ノ右岸ニ在リテ神奈川縣橋樹郡稻田村堰トハ治水教育農業宗教等ノ關係最密ナルヲ以テ東京府神奈川縣ノ境界ヲ變更スルノ法律案ヲ提出セラルル場合ニ於テハ同飛地ヲ稻田村堰ニ編入セラルルヤウ詮議アリタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

地方裁判所支部設置ノ件

北海道上川郡旭川町二條通九丁目士族商武市清行外百三十名呈出

右ノ請願ハ北海道上川郡旭川町ハ同道中樞ノ要地ニシテ年年著シク繁盛ヲ加ヘ殊ニ其ノ附近ハ地域廣ク地味肥エ人口多ク產物ノ増加夥シク隨テ民事商事人事等ニ關シ地方裁判所ノ權限ニ屬スル事項繁多ナルモ此等ノ事件ハ札幌地方裁判所ノ管轄ニ屬シ不便尠カラサルヲ以テ旭川區裁判所ニ札幌地方裁判所支部ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達  
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

郵便局設置ノ件

埼玉縣北足立郡膝折村長渡邊文太郎外一名呈出

右ノ請願ハ埼玉縣北足立郡膝折村片山村ハ共ニ工業發達シ交通運輸頻繁ナルモ郵便事務ハ白子郵便局ノ管轄ニ屬シ時間ヲ空費シ爲ニ郡ノ重要物産タル伸銅製粉等ノ進歩ヲ妨ケ當業者ノ不幸一方ナラサルモノアルヲ以テ膝折村ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達  
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

鹽賠償價格査定ニ關スル調査會設置ニ關スル件

香川縣高松市東濱町讚岐鹽田同業組合聯合會組長洲崎笹一呈出

右ノ請願ハ鹽專賣法ニ依リテ定ムル所ノ鹽賠償價格ハ專賣官吏ノミ之ヲ査定シ當業者ヲシテ査定ニ關與セシメサルハ最公平ナル調査ヲ遂クル能ハサルノ結果ヲ生スルヲ以テ生産費調査委員會ヲ設置シ當業者ヨリモ之カ委員ヲ選任セシメ其ノ意見ヲ徵セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達  
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

郵便局設置ノ件

香川縣三豐郡大見村長嶋田躰三郎呈出

右ノ請願ハ香川縣三豐郡大見村ハ各種ノ産業發達シ貨客ノ集散頻繁ナルモ

郵便事務ハ遠ク上高瀬郵便局ノ管轄ニ屬シ村民ノ不便不利一方ナラサルヲ以テ同村ニ無集配三等郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達  
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

輕便鐵道敷設ノ件

青森縣西津輕郡舞戶村長佐々木芳夫呈出

右ノ請願ハ奥羽本線ヨリ分岐シテ青森縣下北津輕西津輕ノ兩郡ヲ經テ鱒ヶ澤港ニ至ル輕便鐵道ノ敷設ハ雷ニ交通ノ利便ヲ開キ地方ノ發展ニ利スルノミナラス軍事上必要ナルヲ以テ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達  
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

神祇官設立ノ件

岐阜縣山縣郡櫻尾村平民神道禊教教師服部勝衛外一名呈出

右ノ請願ハ神祇ヲ崇敬スルハ我國ノ大典ニシテ皇室ノ尊嚴ヲ保チ國體ノ基本ヲ鞏固ナラシメ彝倫綱常ヲ明ナラシムル所以ナリ然ルニ神祇ニ關スル事務ハ之ヲ管理スルニ内務省ノ一局ヲ以テセラルルハ甚不當ナルヲ以テ獨立ノ神祇官ヲ設立セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達  
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

國庫ノ補助ヲ仰キ日光山ヲ公園ト爲スノ件

栃木縣上都賀郡日光町長西山眞平呈出

右ノ請願ハ日光山ハ維新以來維持ノ道ヲ失ヒ名所舊蹟年々逐ウテ荒廢ニ歸シ加フルニ大谷、稻荷兩川ノ急湍ノ爲ニ年年水害ヲ被リ東洋ノ公園ト稱セラルル名地モ終ニ其ノ實ヲ失フニ至ルヘシ斯ノ如キハ實ニ同地ノ不幸タルノミナラス又帝國ノ面目ニ關スルコト多大ナルヲ以テ日光町民ハ地方費ノ補助ヲ得テ只管之ガ保全ト興復トニ努ムト雖到底完キヲ期シ難キヲ以テ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ給與セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

第二辰丸不法抑留ヨリ生シタル損害金下付ニ關スル件

兵庫縣武庫郡鳴尾村株式會社辰馬商會社長辰馬半右衛門外一名呈出  
右ノ請願ハ明治四十一年二月清國政府ハ第二辰丸ヲ不法ニ抑留シタルヲ以テ我政府ハ清國ヲシテ船舶ノ被リタル損害ヲ賠償セシムル等ノ條件ノ下ニ此ノ問題ヲ解決シタリト雖被害者タル請願人等ハ未損害ノ賠償ヲ交付セラレサルヲ以テ速ニ彼ノ政府ヲシテ賠償セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十四年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵徳川家達君) 請願委員長ノ報告通りテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ニ於テ本日ノ議事日程ハ議了イタシマシタ、御承知ノ通り會期ハ明二十二日マデゴザイマス故ニ、唯今行政裁判法中改正法律案、兩院協議會ノ成案ハ、未ダ衆議院ノ議了ヲ告ゲマセヌカラ、其成案ガ若シ本院ヘ回付ニ相成リマシタナラバ、明日議事ヲ開キマス積リデゴザイマス、此段ヲ諸君ニ申上ゲテ置キマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス  
午後八時九分散會